

2024 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



2025 年 4 月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、2006年4月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化いたしました。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業等の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている皆さまのお役に立てるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は1,995名の皆さまにアンケートを依頼し、1,061名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業等の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

2025年4月

地方独立行政法人

東京都立産業技術研究センター

理事長 黒部 篤

目 次

1. 調査概要	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 調査方法	1
1. 4. 調査内容(調査用紙の項目).....	1
1. 5. 回収結果	1
1. 6. 集計・分析にあたって	1
 2. 調査結果	 2
2. 1. 都産技研利用のきっかけ	2
2. 2. 都産技研の利用実態について	3
(1) 技術相談	4
(2) 依頼試験	9
(3) 機器利用	13
(4) 講習会・技術セミナー	17
(5) オーダーメイド型技術支援.....	19
【事業の比較まとめ】.....	23
2. 3. 都産技研の利用による経済的効果について	24
2. 4. 都産技研の利用による事業効果について	28
2. 5. 今後の利用意向および要望について	30
2. 6. 利用予定事業(サービス)・参入予定分野について	33
2. 7. 情報提供について	35
 3. 総括	 36
3. 1. 利用者からのご意見・ご要望	36
3. 2. ご意見をもとに改善した例について	37
 参考資料	 38

1. 調査概要

1.1. 調査目的

都産技研の利用企業などにおける、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法の改善などに必要なデータを取得するために実施した。

1.2. 調査対象

2024年1月4日から2024年12月27日までの間に、都産技研を利用した実績のある企業などの社員の方で、個人情報の利用に同意いただいた方1,995名を対象とした。

1.3. 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者に配布。

回収方法：記入した調査用紙を郵送、またはオンラインにて回答。

期間：2025年2月7日から2025年3月3日まで

1.4. 調査内容(調査用紙の項目)

- (1) 会社の概要について
- (2) 利用のきっかけ
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用目的、目的達成度、具体的な成果、職員の対応 など
- (4) 経済的効果について
- (5) 事業効果について
- (6) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用希望サービス、参入予定分野 など
- (7) 情報提供について

1.5. 回収結果

1,061名の方から回答をいただいた。(回収率53.2%)

1.6. 集計・分析にあたって

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。

2. 調査結果

2.1. 都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ウェブサイト」、「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が高い。また、「その他」の回答が 84 件あるが、そのうち「以前から利用・知っていた」の回答が多くなっている。

都産技研利用のきっかけ(複数回答)

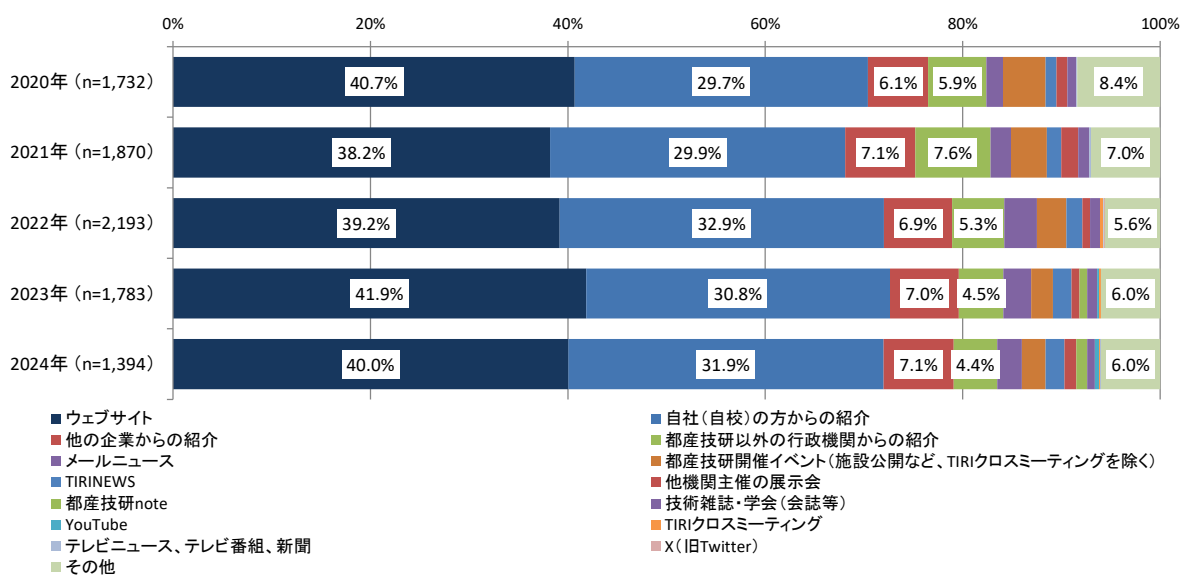
回 答	件数	割合
ウェブサイト	557	40.0%
自社（自校）の方からの紹介	445	31.9%
他の企業からの紹介	99	7.1%
都産技研以外の行政機関からの紹介	62	4.4%
メールニュース	35	2.5%
都産技研開催イベント（施設公開など、TIRI クロスミーティングを除く）	33	2.4%
TIRI NEWS	27	1.9%
他機関主催の展示会	17	1.2%
都産技研 note	15	1.1%
技術雑誌・学会（会誌等）	11	0.8%
YouTube	5	0.4%
TIRI クロスミーティング	2	0.1%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	2	0.1%
X（旧 Twitter）	0	0.0%
その他	84	6.0%
合 計	1,394	100.0%

[その他の主な内容]

- ・ 以前から利用・知っていた (37 件)
- ・ 前職で利用 (10 件)

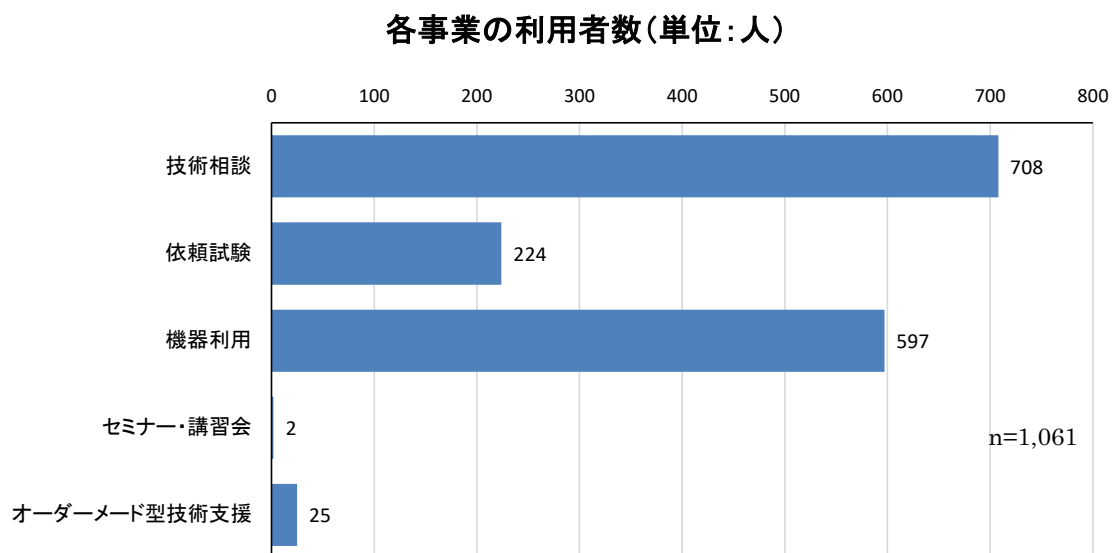
経年推移をみても、大きな傾向の差はなく、「ウェブサイト」、「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が多く、「自社（自校）の方からの紹介」の回答割合が増加傾向にある。

都産技研利用のきっかけ(推移)



2.2. 都産技研の利用実態について

本アンケートの対象者である1,061名が2024年に利用した都産技研事業の内訳は、「技術相談」が708名、「依頼試験」が224名、「機器利用」が597名、「講習会・技術セミナー」が2名、「オーダーメイド型技術支援」が25名であった。



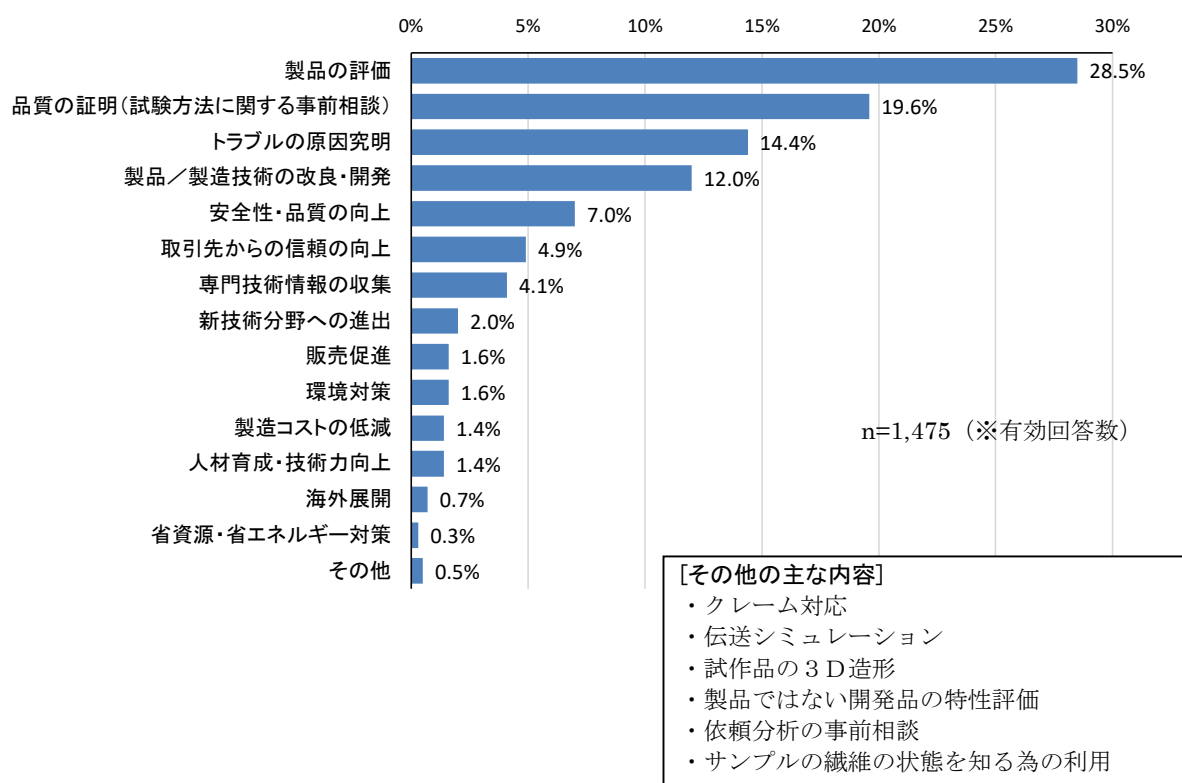
※利用者によっては、複数事業の利用があるため、それぞれの事業の回答数の合計がn数を超える。

(1) 技術相談

本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応などについて、回答をいただいた。

技術相談の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「品質の証明」、「トラブルの原因究明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。

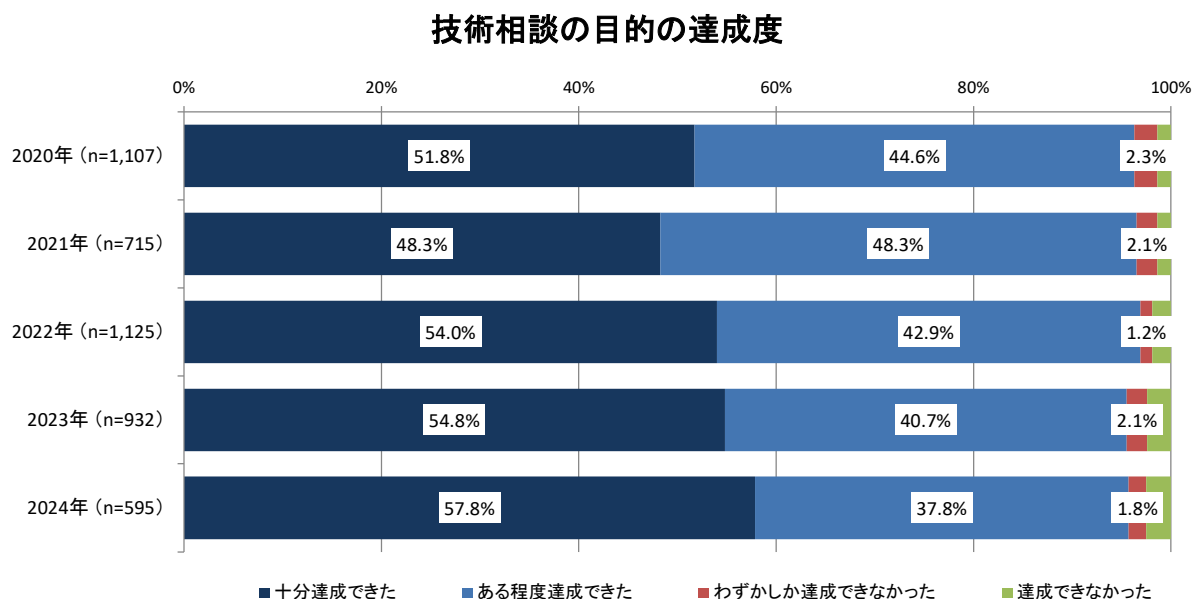
技術相談の目的(複数回答)



※本アンケートの複数回答の設問の集計は、回答者数ではなく有効回答数(回答件数)を母数として算出している。次ページ以降の複数回答の設問の集計も同様である。

(1) 技術相談

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が57.8%、「ある程度達成できた」が37.8%となっている。95%以上の利用者が十分あるいはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、2021年に一度減少しているものの「十分達成できた」の割合が微増傾向にある。



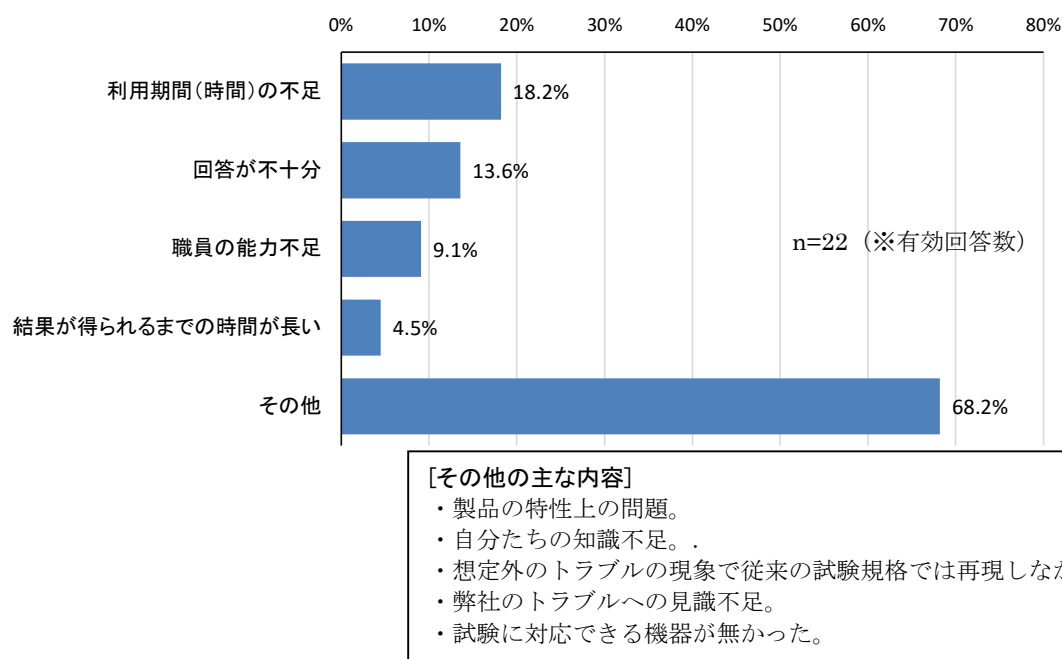
上述のような目的達成に関する具体的な成果について、308件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下のとおり。

技術相談による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 品質証明をした所、のべ2000万円の損害を防げた。
- 試験結果により、取引先との製品検証の為のエビデンスとなった。
- 公共事業分野に関する発注工事を受注できた。
- 量産検討における判断材料となった。
- トラブルの原因究明が出来て、客先に納得してもらえた。
- 高精度な試作品が作成でき、新製品開発に向けて貴重なデータを収集できた。また加工(金属加工)手法についても、貴重な知見を得ることができた。
- 原料調査による方向性の決定が出来た。
- 電気自動車用普通充電器向け規格のノウハウを蓄積することができました。
- 温度試験の条件について相談し、製品の評価計画を立てることができた。

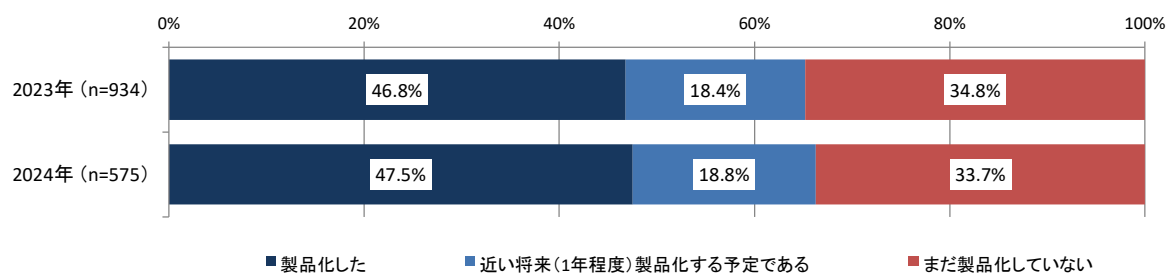
目的達成度について「わずかしこ達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由を聞いたところ、「利用期間(時間)の不足」、「回答が不十分」との回答割合が高かった。

目的達成度が低い理由(複数回答)



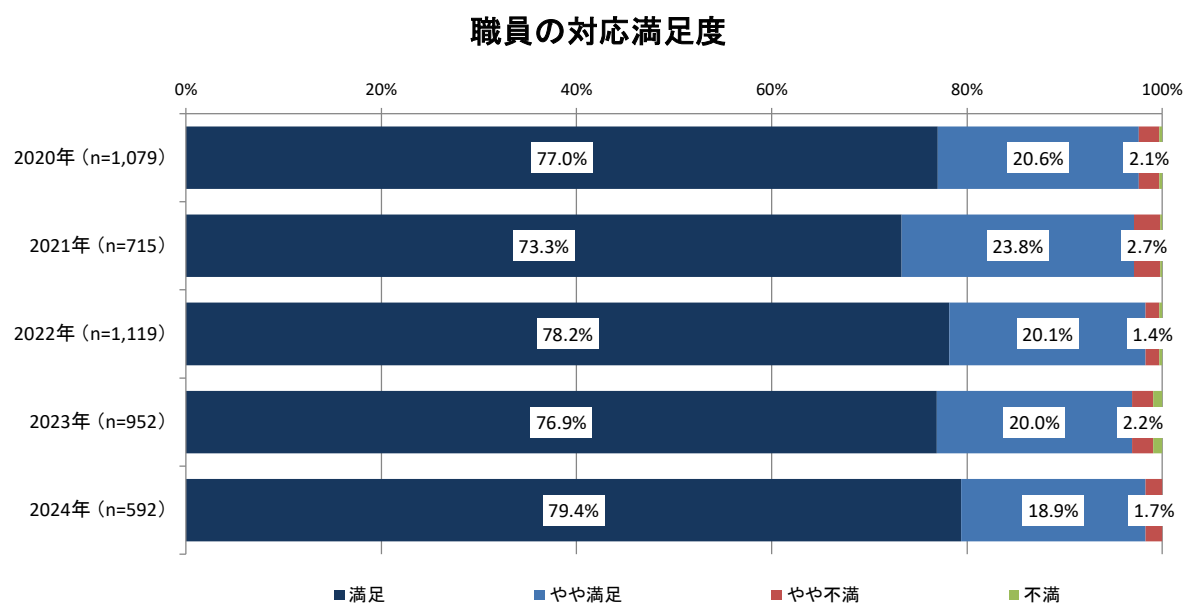
技術相談を利用後、製品化に至ったかについては、「製品化した」が 47.5%、「近い将来(1年程度)製品化する予定である」が 18.8%、「まだ製品化していない」が 33.7%となっている。経年変化をみると、「製品化した」は増加傾向にある。

製品化状況



(1) 技術相談

技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 79.4%、同様に「やや満足」が 18.9%と、合計して 98.3%が満足と答えている。



技術相談のサービスに対する意見・要望について、230 件のコメントをいただいた。

技術相談についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

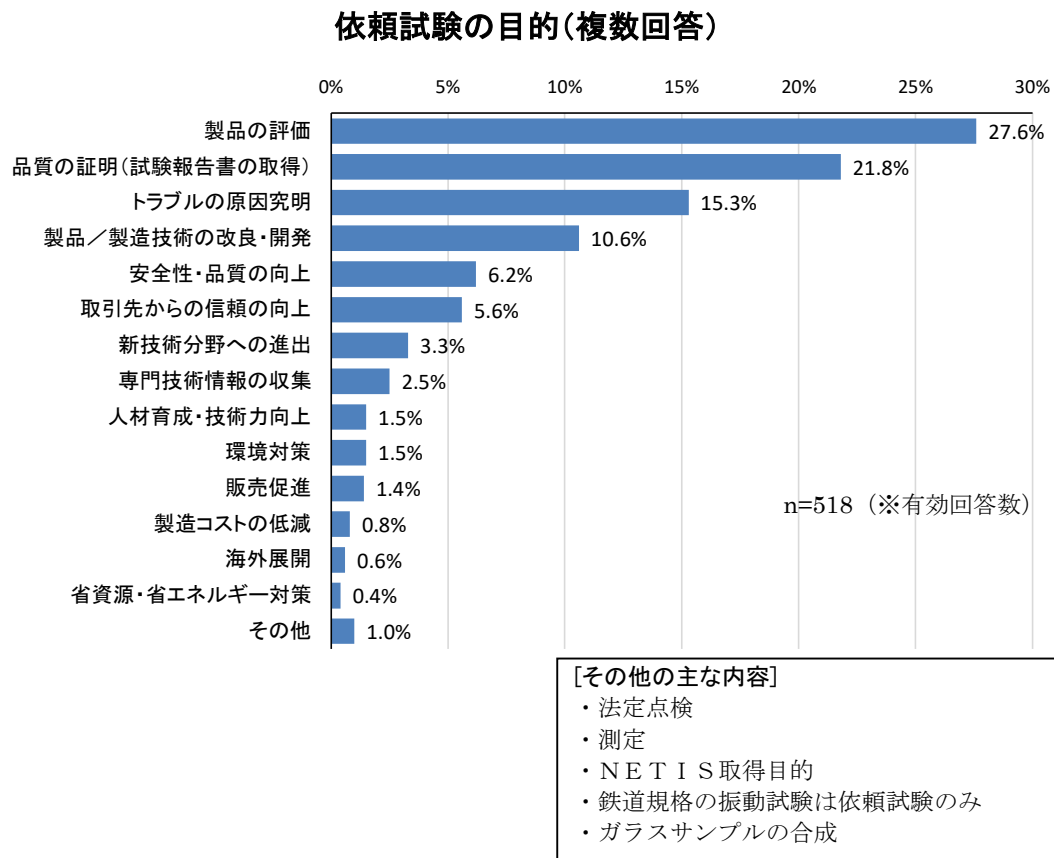
- 相談から教育までやって頂けるとありがたい。
- 熱関連のデータ収集用機器を取り揃えて欲しい。
- 職員様の対応は十分でしたが、その後の費用が想定外で対応できなかった。
- 製造メーカーでトラブル対応等の経験豊かな実績のある職員さんがいらつしゃると、より相談しやすいと感じました。
- JISに規格がない試験方法でも、知見から試験方法・評価方法を検討して欲しい。
- hp などでチャット形式である程度話を進めて見たい。
- スペシャリスト目線から見た製品評価方法の提案等をしていただけると、とても助かります。
- 技術相談の宣伝が素朴な感じがします。先端的な技術や知見とを有する方々へ直接相談できることのメリットをもっと強烈にアピールして欲しいです。また、職員の方々は「技術相談で話を聞く」ことが職務ではなく、相談者の立場になって「多面的に支援する」ということを本分に弁えて活動をしています。このことももっと多くの技術者たちに知って貰いたいと考えています。お役所仕事の対応と勘違いをしている人も居るのではないかと想像しています。
- 一般的な技術相談に関しては、一月中に何度でも相談させて頂けるが、CE マーキング、UL 取得等の問い合わせは、月 1 回に限られています。可能であれば、回数を増やして頂きたいです。
- 施設利用での機器の空き状況がサイト上から簡単に見られるようにして欲しい。
- 技術相談で、相談の傾向がわかる資料をホームページに開示してほしい。弊社だけの問題なのか(EU の環境関係の問い合わせが増えているとか)。

(2) 依頼試験

(2) 依頼試験

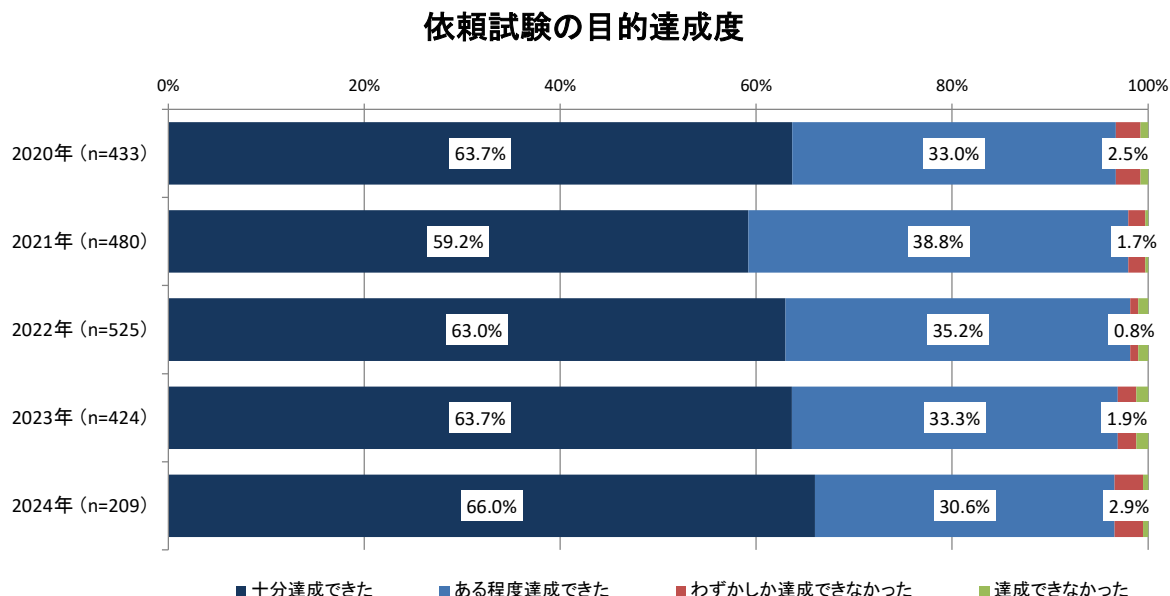
本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応などについて、回答をいただいた。

依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」、「品質の証明」の回答割合が高い。次いで、「トラブルの原因究明」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。また、「安全性・品質の向上」、「取引先からの信頼の向上」の回答割合も一定程度あった。



(2) 依頼試験

依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が 66.0%、「ある程度達成できた」が 30.6%となっており、95%以上の利用者が十分またはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、「ある程度達成できた」の回答割合が若干減少し、「十分達成できた」の回答割合が若干増加している。



上述のような目的達成に関する具体的な成果について、105 件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下のとおり。

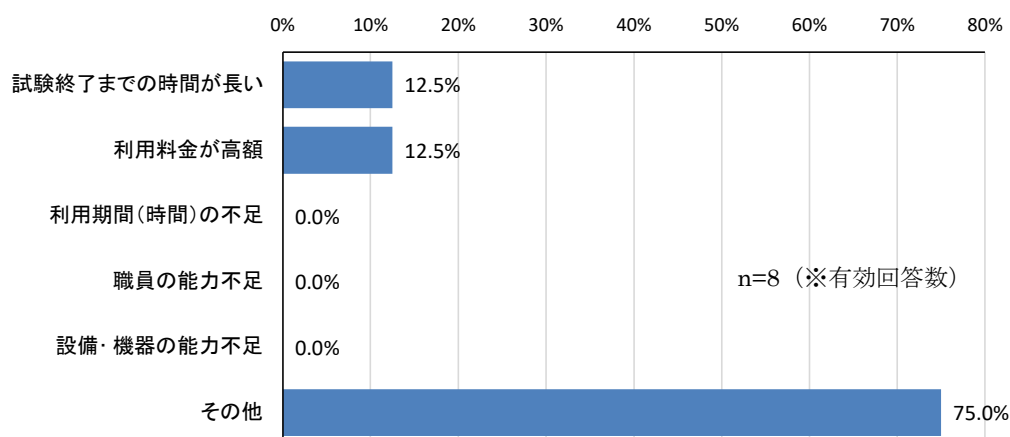
依頼試験による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 新製品（形状）の提案～受注につながった。
- ジンクロメートの耐侵性試験（塩水）では、中国と日本での品質差として、知見が高まりました。
- 静音化対策に成功、他社品との差別化が出来た。
- クレーム発生時の原因調査のための分析をお願いしており、原因を特定することができました。
- 試験結果に伴う、技術的な情報収集が出来た。
- 社内外への品質の証明に役立った。
- 粉体分析によってフィルターの開発が出来た。
- 生産中止となる電線について、代替品の評価を行うことができ、新規品の電線に変更することができた。
- UV 照射実験にて様々な UV カットの効果の差を確認でき、商品への採用にいたりしました。
- 貴法人試験により、製品の改良点が見つかった。

(2) 依頼試験

目的達成度について、「わずかしこ達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由を聞いたところ、「試験終了までの時間が長い」、「利用料金が高額」との回答割合が高かった。

目的達成度が低い理由(複数回答)

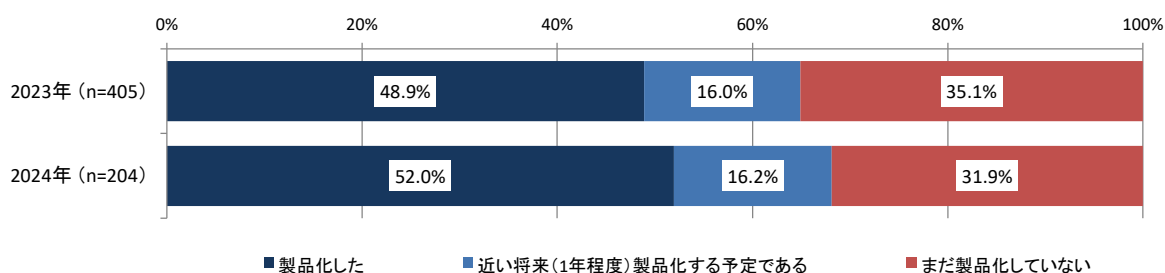


[その他の主な内容]

- ・現在の分析装置では分析不可能。
- ・自社技術的に目標に達していなかったから。
- ・打ち合わせ不足。
- ・X線透過試験では確認不可の不具合原因だったため。

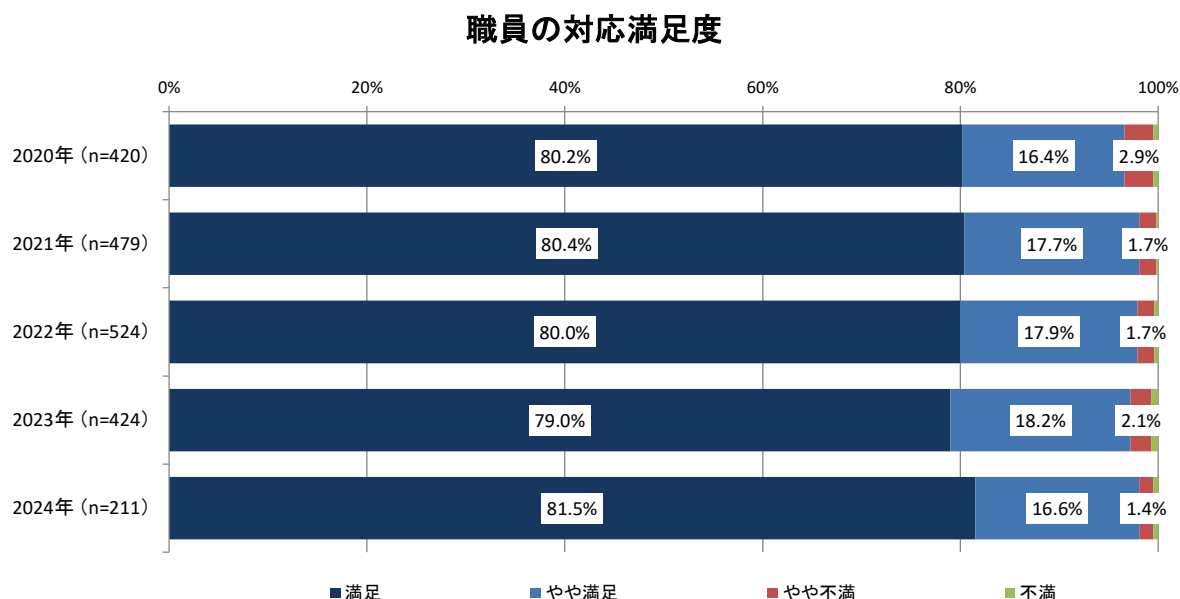
依頼試験を利用後、製品化に至ったかについては、「製品化した」が52.0%、「近い将来(1年程度)製品化する予定である」が16.2%、「まだ製品化していない」が31.9%となっている。経年変化をみると、「製品化した」は増加傾向にある。

製品化状況



(2) 依頼試験

技術相談の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 81.5%、同様に「やや満足」が 16.6%と、合計して 98.1%が満足と答えている。



依頼試験のサービスに対する意見・要望について、93 件のコメントをいただいた。

依頼試験についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- 料金も安く、精度も高かった。このままの状態を保ってほしい。できれば自分自身で加工を体験したかった。
- SEM 高解像度機器の利用をもう少し増やしてほしい。
- ただ試験するだけではなく、類似品などについて技術的なアドバイスや事例、実績などの情報が聞けるとありがたい。
- 引張試験をした結果、引張荷重の数値だけが結果であった。例えば、『試験中にほどけて破断できなかった』というような試験状況を記載していただけるともっと良かった。
- 試験機空き状況を確認できる様にしてほしい。
- 装置について、分析法については専門家でも、業務の方はこちらの方が経験豊富なので双方協調できるようにご配慮いただきたいです。
- JIS 等で試験方法が確立できていないものに関して、試験方法案の提案をしていただけると嬉しいです。
- 技術相談受付フォームでは試験実施不可と回答があったが、試験担当者へ直接確認して試験実施可の回答をもらったので受付窓口によって実施可否が変わらないようにしていただけるとありがたいと感じた。
- ご依頼してから実施日までので時間をもう少し短くして頂けましたらありがたいです。
- 依頼試験の設備予約が厳しい。かなり先の開発日程を読んで、予約する作業がハードルが高い。(予定が読み切れない) 土日も試験できると大変有難いです。
- Web ページで予約状況が確認できるようにしてもらいたい。

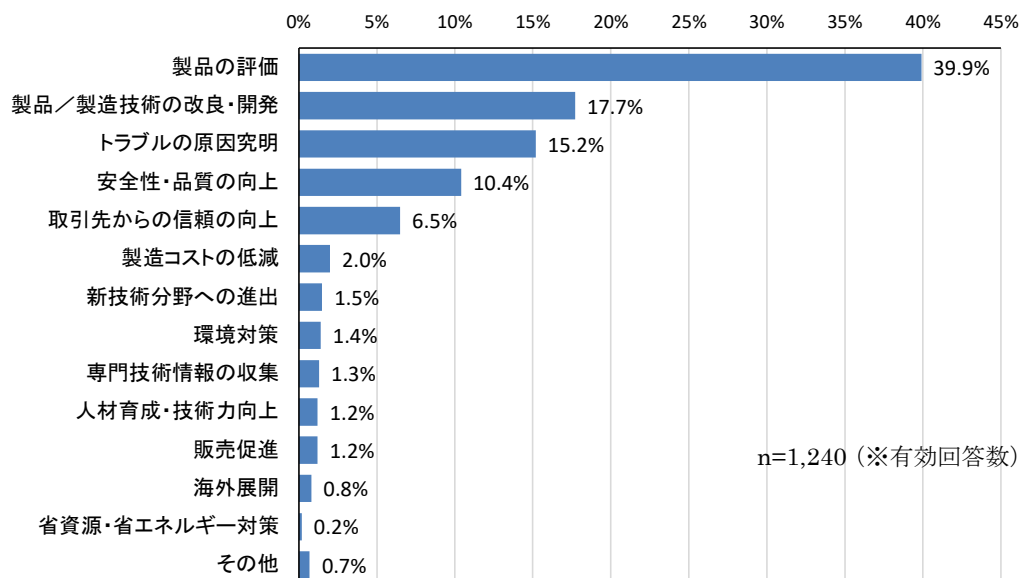
(3) 機器利用

(3) 機器利用

本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応などについて、回答をいただいた。

機器利用の利用目的としては、「製品の評価」の回答割合が突出して高い。次いで、「製品/製造技術の改良・開発」、「トラブルの原因究明」の回答割合が高かった。また、「安全性・品質の向上」、「取引先からの信頼の向上」の回答割合も一定程度あった。

機器利用の目的(複数回答)

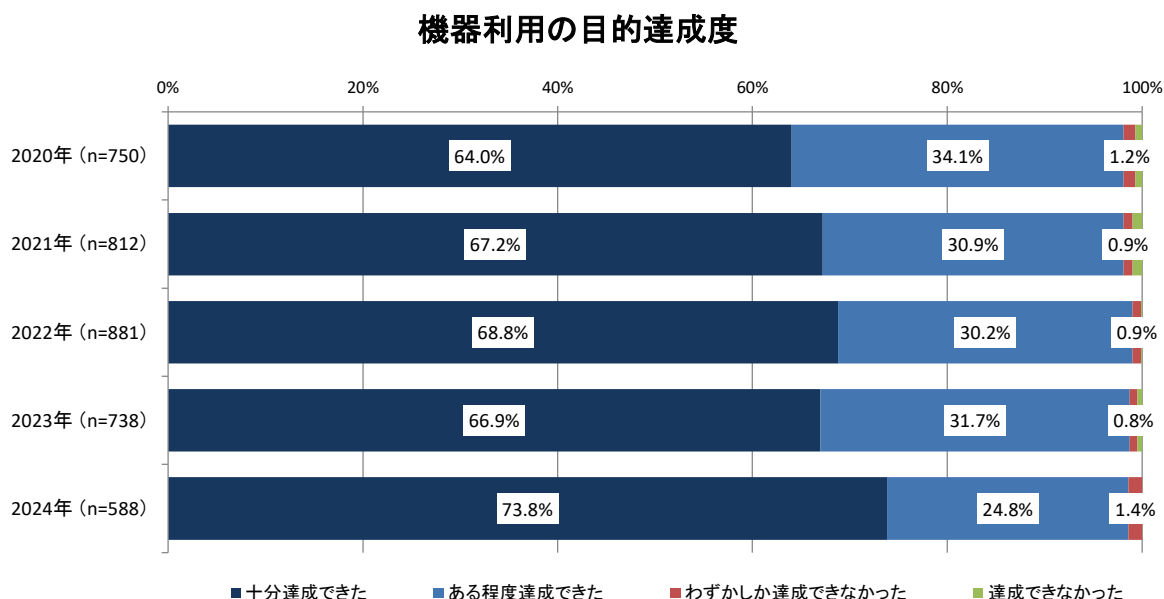


[その他の主な内容]

- ・実験用の特殊な装置の試験
- ・NET I S取得の為
- ・製品評価試験
- ・試作品製作
- ・3D スキャン機器のレンタル

(3) 機器利用

機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が73.8%、「ある程度達成できた」が24.8%となっている。98.6%の利用者が十分あるいはある程度、目的を達成している。経年変化をみると、「十分達成できた」は増加傾向、「ある程度達成できた」は減少傾向にある。



上述のような目的達成に関する具体的な成果について、313 件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下のとおり。

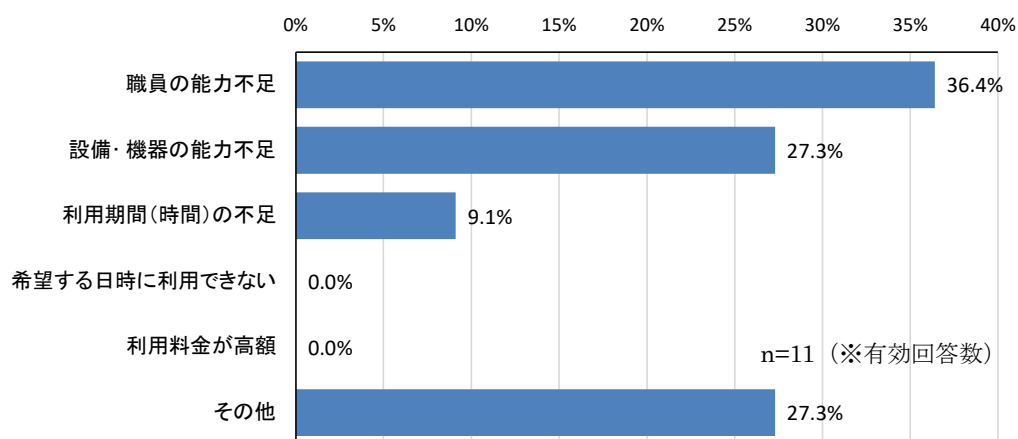
機器利用による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

- 製品に起こったトラブルの改善につながる知見が得られた。
- 製造委託先との認識のズレの修正に役立った。
- 機器利用に関して検査機器を当社で準備することになると高額な為、経費が抑えられる。
- 想定した機器の性能と信頼性を確認できた。
- 開発品のデータ採取を行い製品化、カタログデータに利用。
- お客様から要求のあった防水等級にクリアできました。このため監視用カメラモジュールの拡販につながりました。
- 鋼製の床下地材の支持材の性能検証および検証結果を元にした改良に繋がりました。
- 弊社で規定されている各種 IEC61000、EMC 試験を実施する事で、製品の信頼性を確認する事ができ、製品としてリリースすることができました。
- 新規の客先へあらたな製品の提案(形状、強度など)が出来、製品化につながった。
- クレーム対応のための恒温恒湿槽を利用させていただき、解決することができた。
- 量産前にサンプルが仕様として十分な性質を有していることを確認できた。

(3) 機器利用

目的達成度について、「わずかしこ達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者に達成度が低い理由を聞いたところ、「設備・機器の能力不足」、「設備・機器の能力不足」、の回答割合が高かった。「利用期間（時間）の不足」との回答割合も一定程度あった。

目的達成度が低い理由(複数回答)

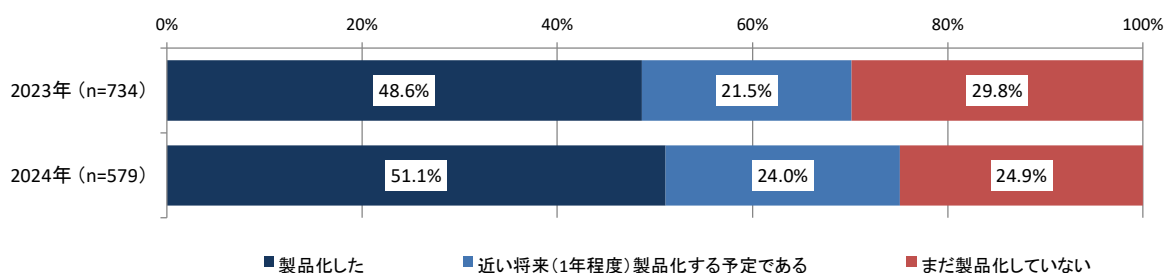


[その他の主な内容]

- ・再現まで、出来なかった。
- ・弊社製品の事前準備が整っていない。
- ・試料が測定条件に合わなかった。

機器利用を利用後、製品化に至ったかについては、「製品化した」が 51.1%、「近い将来（1年程度）製品化する予定である」が 24.0%、「まだ製品化していない」が 24.9%となっている。経年変化をみると、「製品化した」は増加傾向にある。

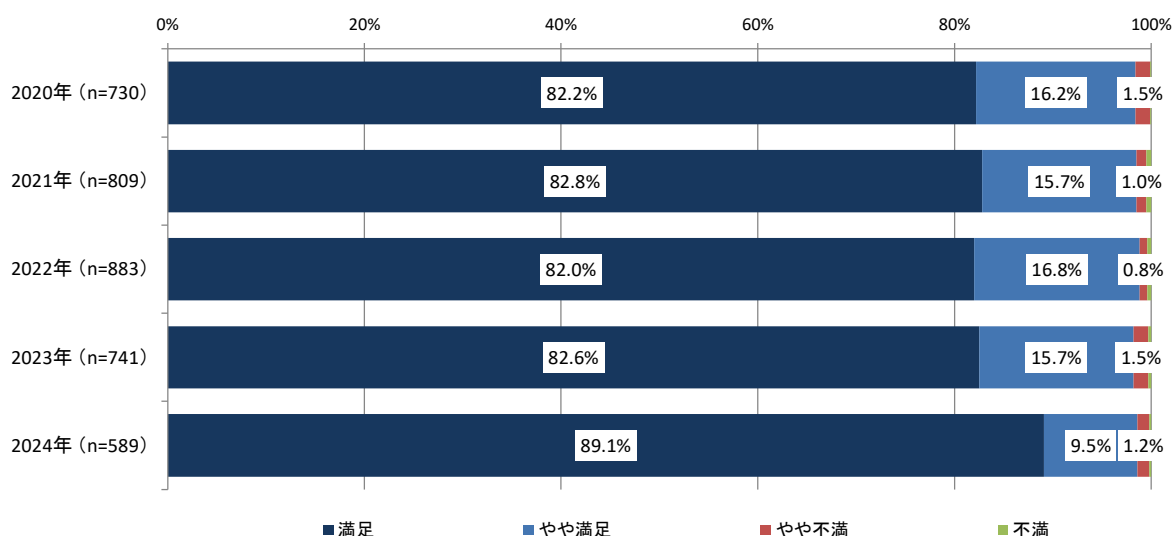
製品化状況



(3) 機器利用

機器利用の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 89.1%、同様に「やや満足」が 9.5%と、満足している割合がとても高い。経年変化をみると、「十分達成できた」は増加傾向、「ある程度達成できた」は減少傾向にある。

職員の対応満足度



機器利用のサービスに対する意見・要望について、267 件のコメントをいただいた。

機器利用についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- こちらは素人なので、漠然とした相談が多いと思いますが、専門外でも横断的に相談して頂けています。
- 顕微赤外や熱分析装置など利用できる装置を増やしてほしい。
- 樹脂分析やフィルム解析の装置を増やしていただきたい。
- IEC (JIS) に対応した試験機のバリエーションを増やしていただけると有難いです。
- 機器利用で使用する機器のマニュアル冊子を作成してもらえると有難いです。忘れたときに見直せるので。
- 測定データは DVD に記録して持ち出す方式だったので不便だった。メールやサーバーからダウンロードできる方式にして欲しい。
- 予約が半日単位と聞きました。場合によっては一時間かからない利用の場合もありますので、もう少し時間数を減らして予約できるようにしていただきたい。
- 機器の予約空き状況を Web から確認、予約できるようにしてほしい。
- 設備によっては試料ホルダーなどが必要なので、情報が web から見られると良いかと思います。

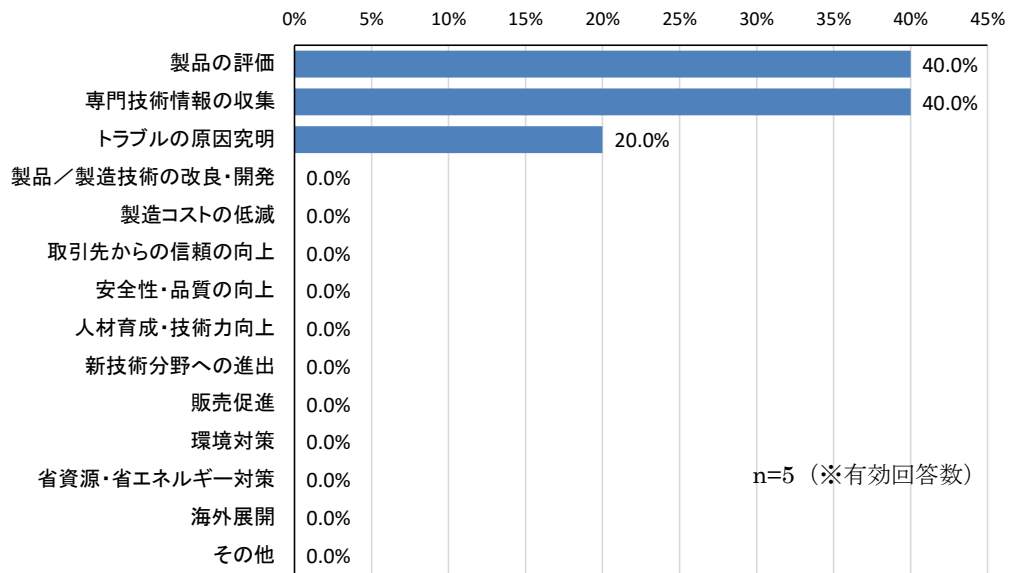
(4) 講習会・技術セミナー

(4)講習会・技術セミナー

本設問では、「講習会・技術セミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応などについて、回答をいただいた。

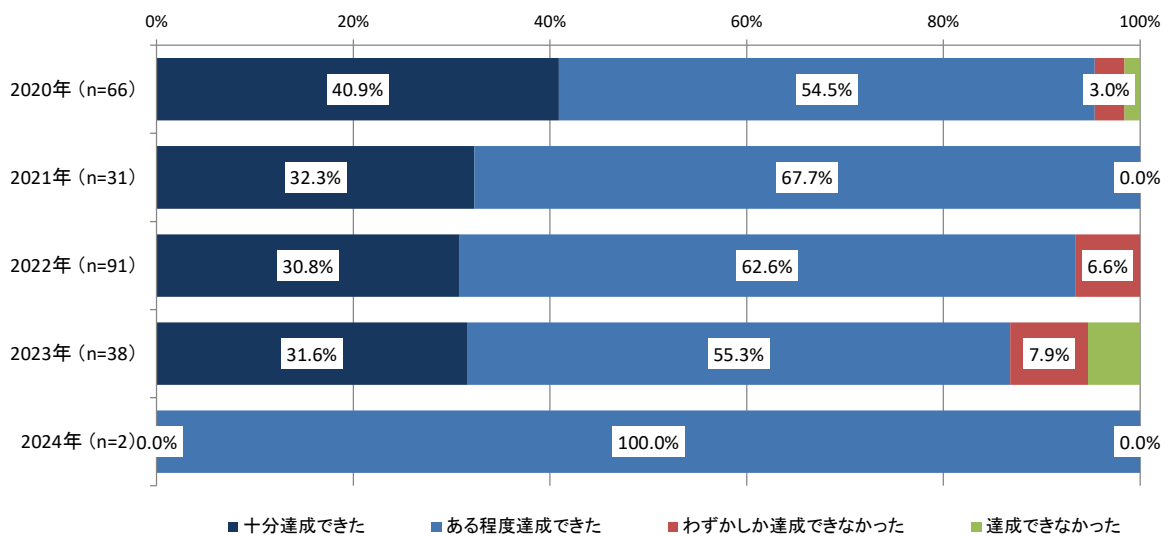
講習会・技術セミナーの利用目的としては、「製品の評価」、「専門技術情報の収集」、「トラブルの原因究明」などの回答割合が高かった。

講習会・技術セミナーの目的(複数回答)



講習会・技術セミナーの目的達成度は、「ある程度達成できた」が 100.0%となっている。

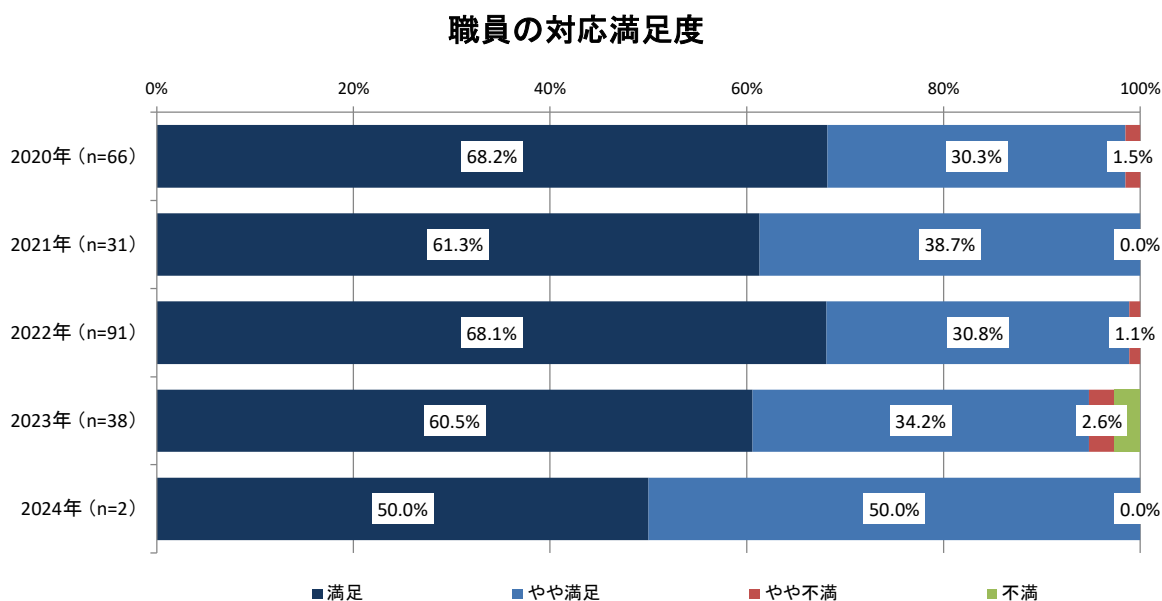
講習会・技術セミナーの目的達成度



(4) 講習会・技術セミナー

目的達成度について、「わずかしこ達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者はいなかった。

講習会・技術セミナーの職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 50.0%、同様に「やや満足」が 50.0%となっている。



講習会・セミナーのサービスに対する意見・要望について、1件のコメントをいただいた。

講習会・技術セミナーについての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- 講習会の募集人数が少なく参加できないことが有ったので、増やして欲しい。

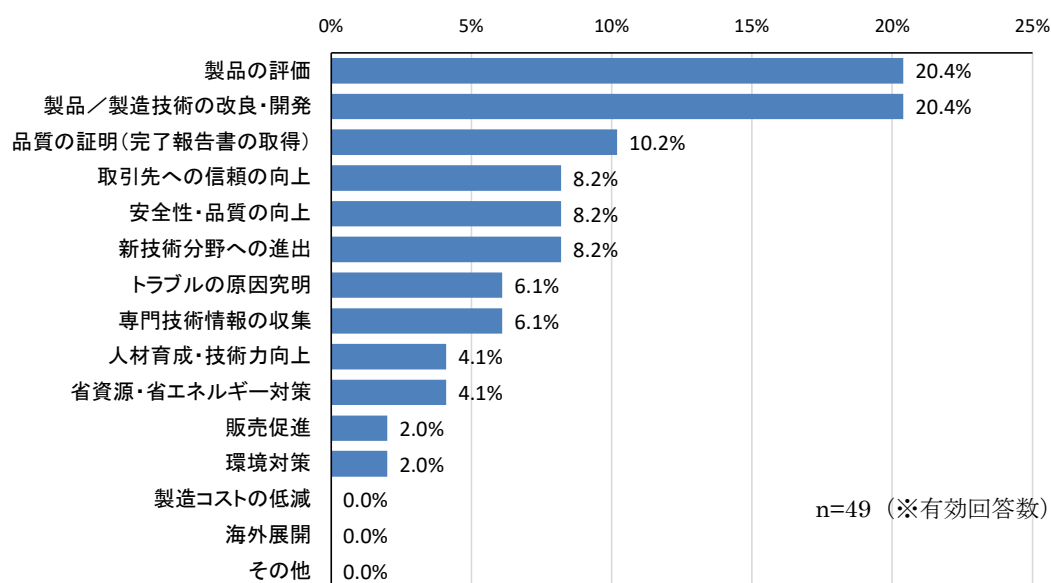
(5) オーダーメイド型技術支援

(5)オーダーメイド型技術支援

本設問では、「オーダーメイド型技術支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応などについて、回答をいただいた。

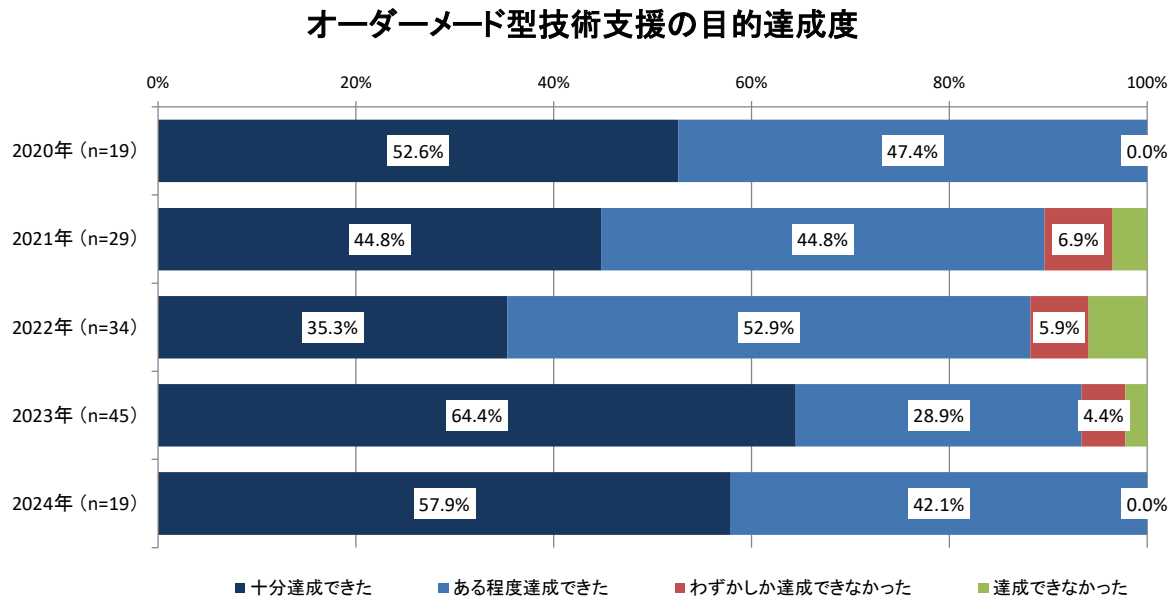
オーダーメイド型技術支援の利用目的としては、「製品の評価」、「製品/製造技術の改良・開発」の回答割合が高い。次いで、「品質の証明」などの回答割合が高かった。

オーダーメイド型技術支援の目的(複数回答)



（５）オーダーメイド型技術支援

オーダーメイド型技術支援の目的達成度は、「十分達成できた」が 57.9%、「ある程度達成できた」が 42.1%となっている。100.0%の利用者が十分あるいはある程度、目的を達成している。経年変化をみても、各年とも目的を達成している割合が高い。



上述のような目的達成に関する具体的な成果について、7 件のコメントをいただいた。成果の具体的な内容例は以下のとおり。

オーダーメイド型技術支援による成果の内容(回答内容から一部抜粋)

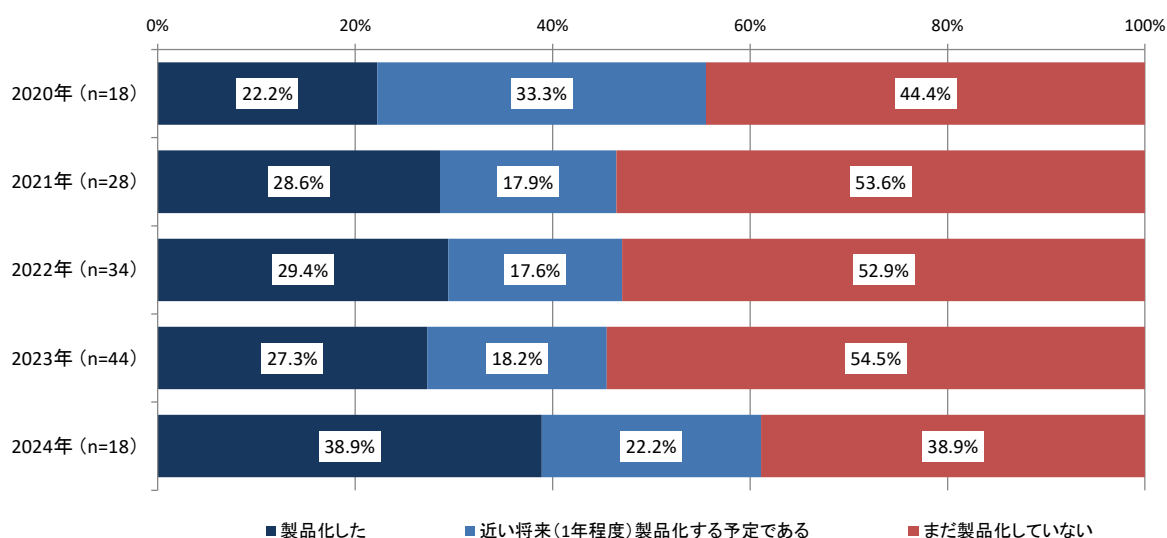
- 得られたデータを顧客への報告に使用した。
- 新素材の特性評価は新太陽光開発への足掛かりになった。多種の要望に対しての対応が良い。
- 発泡断熱材の熱伝導率評価。
- リスク管理を数値化することができた。

(5) オーダーメイド型技術支援

目的達成度について、「わずかしこ達成できなかった」、「達成できなかった」とした回答者はいなかった。

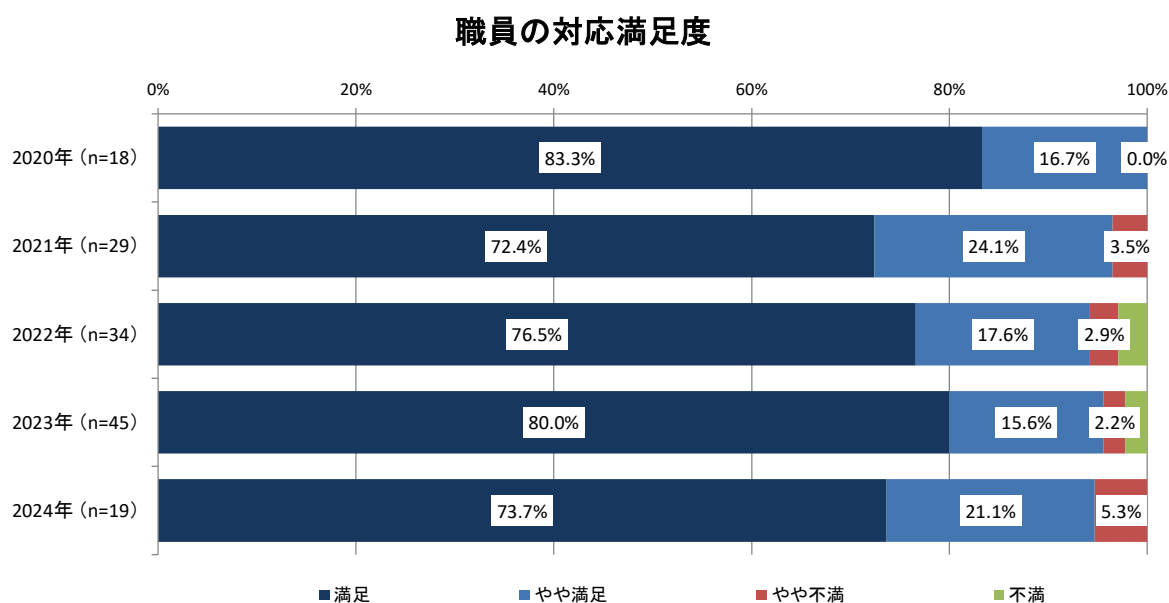
オーダーメイド型技術支援後の製品化状況をみると、「製品化した」の回答割合は 38.9%、「近い将来製品化する予定である」の回答割合は 22.2%であった。経年変化をみていくと、前回調査時より製品化した割合は増加傾向にある。

製品化状況



(5) オーダーメイド型技術支援

オーダーメイド型技術支援の職員の対応満足度については、「満足」の回答割合が 73.7%、同様に「やや満足」が 21.1%と、満足している割合がとても高い。経年変化をみると、満足している回答割合が減少している。



オーダーメイド型技術支援のサービスに対する意見・要望について、7 件のコメントをいただいた。

オーダーメイド型技術支援についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- 目的が達成できたため再度利用したい。
- 都産技は非常に良い。またお願いしたいです。
- 測定原理やデータ解釈についてご説明いただくことができました。
- 細かく対応していただき大変助かりました。
- 技術面でわからない事等を教えて頂きました。

【事業の比較まとめ】

【事業の比較まとめ】

- ・利用目的は、すべての項目で「製品の評価」が上位に入っている。
- ・目的達成度は、すべての事業で「十分達成+ある程度達成」が90%以上となっている。
- ・達成度が低い理由としては、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」で、「利用期間（時間）の不足」が挙げられている。
- ・職員の対応は、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」、「講習会・技術セミナー」で「満足+やや満足」が90%以上となっている。

事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	講習会・技術セミナー	オーダーメイド型技術支援
利用目的 上位3項目		・製品の評価 ・品質の証明（試験方法に関する事前相談） ・トラブルの原因究明	・製品の評価 ・品質の証明（試験報告書の取得） ・トラブルの原因究明	・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 ・トラブルの原因究明	・製品の評価 ・専門技術情報の収集 ・トラブルの原因究明	・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 ・品質の証明（完了報告書の取得）
目的 達成度	十分達成+ ある程度達成	95.6%	96.6%	98.6%	100.0%	100.0%
	わずかしこ 達成できない+ 達成できない	4.3%	3.4%	1.4%	0.0%	0.0%
達成度が 低い場合の理由 上位3項目		・利用期間（時間）の不足 ・回答が不十分 ・職員の能力不足 n=22	・試験終了までの時間が長い ・利用料金が高額 ・利用期間（時間）の不足 n=7	・職員の能力不足 ・設備・機器の能力不足 ・利用期間（時間）の不足 n=8	n=0	n=0
職員 の 対応	満足+ やや満足	98.3%	98.1%	98.6%	100.0%	94.8%
	やや満足+ 不満	1.7%	1.9%	1.4%	0.0%	5.3%

2.3. 都産技研の利用による経済的効果について

都産技研の利用により得られたと思われる経済的効果の金額換算について、「コストの削減」、「売上/利益の獲得」、「将来メリット」の3つの項目に分けて質問をした。各項目の内容については以下のとおりである。

「コストの削減」

- ・効果的なアドバイスを受けたことで、開発時間・労力を削減できた。など

「売上/利益の獲得」

- ・依頼試験により海外認証を取得し、製品の売上が見込める。など

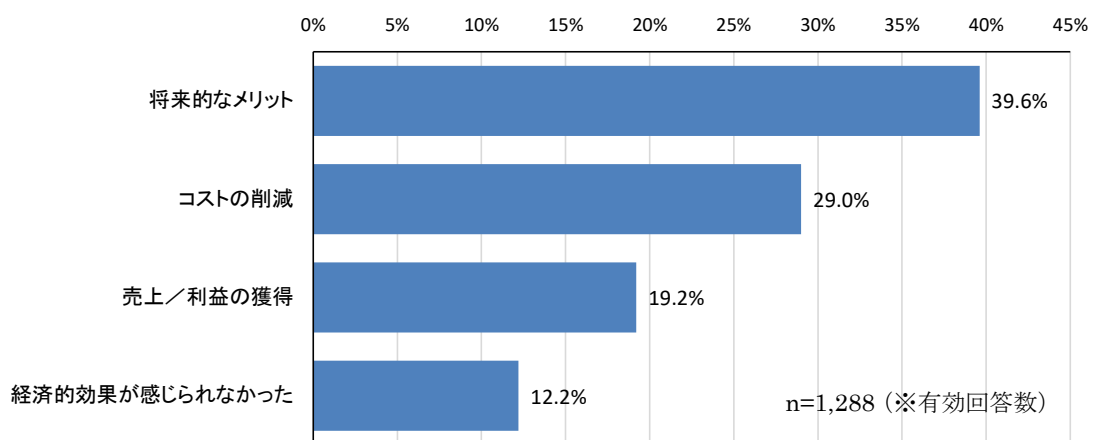
「将来メリット」

- ・不具合の原因究明ができたため、欠陥に起因する損失を回避することができた。など

都産技研の利用によって得られた経済的効果は「将来メリット」の割合が高く、次いで「コストの削減」、「売上/利益の獲得」となっている。

一方、「経済的効果が感じられなかった」の回答割合は1割程度となっている。

都産技研の利用によって得られた経済的効果(複数回答)



一企業あたりの経済的効果額を以下の試算によって算出した。その結果、一企業あたりの経済的効果額（※１）は 508 万円となっている。

経済的効果額の回答内訳(複数回答あり)

		単位：件	
金額		換算金額	合計
回 答	0円	0円	157
	0円超～50万円	25万円	295
	50万～100万円	75万円	176
	100万～300万円	200万円	145
	300万～500万円	400万円	58
	500万～1,000万円	750万円	87
	1,000万～3,000万円	2,000万円	55
	3,000万～5,000万円	4,000万円	10
	5,000万～1億円	7,500万円	14
	1億円超	1億円	12
有効回答数			1009
経済的効果額			51億3,025万円
一企業あたりの経済的効果額			508万円/企業
利用企業全体での経済的効果額		10442社（※２）	530億9,224万円

（※１）「コストの削減」、「売上/利益の獲得」、「将来メリット」による経済的効果額については、以下に記載の計算にて同様に算出

（※２）2024年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

以下に、一企業あたりの経済的効果額および利用企業全体での経済的効果額の算出について記載する。

①各レンジの換算値について

「0円超～50万円」への回答は 25万円	} として、全体の加重平均を算出する
「50～100万円」への回答は 75万円	
⋮	
「1億円超」への回答は 1億円	

②経済的効果の算出

$$\begin{aligned}
 \text{経済的効果額} &= (25 \text{ 万円} \times 295 \text{ 件}) + (75 \text{ 万円} \times 176 \text{ 件}) + (200 \text{ 万円} \times 145 \text{ 件}) \\
 &\quad + (400 \text{ 万円} \times 58 \text{ 件}) + (750 \text{ 万円} \times 87 \text{ 件}) + (2,000 \text{ 万円} \times 55 \text{ 件}) \\
 &\quad + (4,000 \text{ 万円} \times 10 \text{ 件}) + (7,500 \text{ 万円} \times 14 \text{ 件}) + (1 \text{ 億円} \times 12 \text{ 件}) \\
 &= 51 \text{ 億 } 3,025 \text{ 万円}
 \end{aligned}$$

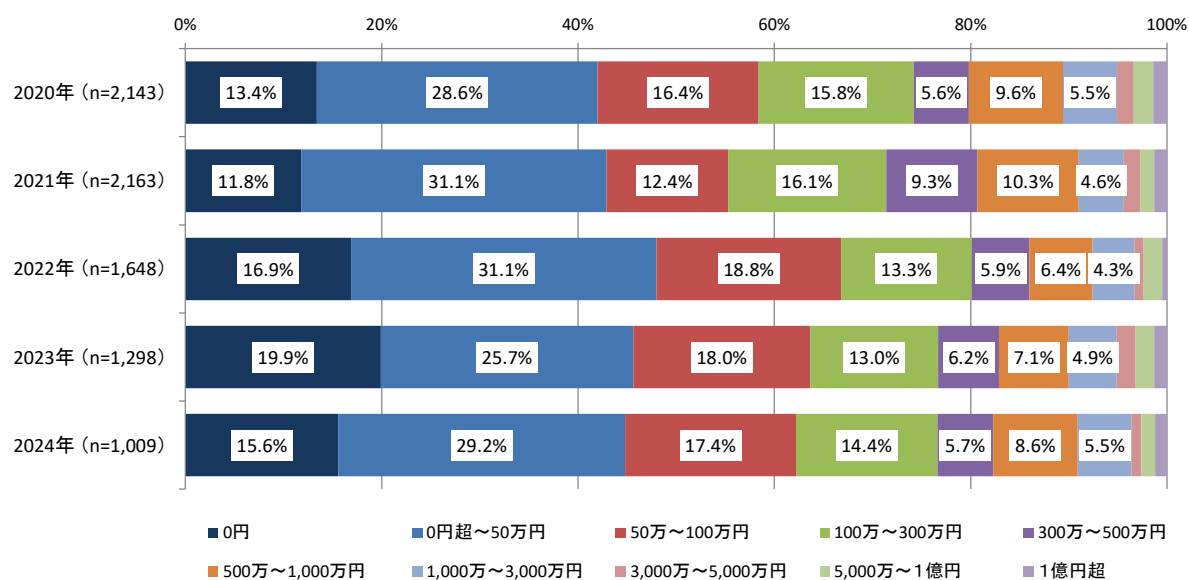
$$\text{一企業あたりの経済的効果額} = 51 \text{ 億 } 3,025 \text{ 万円} \div 1,009 \text{ 件 (有効回答数)} = \text{約 } 508 \text{ 万円/企業}$$

$$\text{利用企業全体での経済的効果額} = 508 \text{ 万円} \times 10,442 \text{ 社 (※１)} = \text{約 } 531 \text{ 億円}$$

（※１）2024年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

有効回答数に対する経済的効果額の内訳を見ると、「0円」の回答割合が15.6%、「0円超～50万円」の回答割合が29.2%、以下同様に、「50万円～100万円」が17.4%、「100万円～300万円」が14.4%、「300万円～500万円」が5.7%、「500万円～1,000万円」が8.6%、「1,000万円～3,000万円」が5.5%となっている。

有効回答数に対する経済的効果額の内訳



経済的効果についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)

「コストの削減」

- 改良した商品によって販売チャネルを拡大できた。
- 設備導入コストの削減。
- 金型を製作して評価していた製品が、3D プリンター一品で評価できるようになり、製作コストの削減につながった。
- 他の分析サイトより早く低コストで結果が得られた。
- 第三者機関での依頼試験費用の削減。
- 建材試験センターなどを利用しないと実施できなかった実験が、大型の万能試験機を借りることで実施できたため、同じ成果を得るための費用としては100万円近い削減効果が得られた。
- 民間の事業者と比較してもコストパフォーマンスは高いと思います。試験の立ち合いも出来ました。

「売上/利益の獲得」

- 市場でのシェア獲得。
- 検査した製品の売上の獲得。
- 保証値を証明できたので、安定受注が見込まれる。
- 不燃磁性キッチンパネルの製品化による利益。
- 材料廃番に伴って製品を廃番にすることなく、代替材料で製品販売の維持につながることができた。
- 海外認証を取得できたことで、売上増が見込まれる。

「将来メリットの獲得」

- 製品の耐久度数値をデータやグラフなどで表し、安全性をクリアし、注文・生産へと結び付けられた。
- 市場返却品の削減効果が見込める。
- 後継機に先んじて対応策を盛り込んだので、故障頻度が圧倒的に減った。
- 電磁波の抑制及び熱伝導の高効率化を展開しており、現在の産業の根幹技術になりえる。
- 生産終了部品の代替品の試験だったため、製造が継続できることが確認できたことによる効果。
- 未然に不具合を無くし、お客様からの信頼が得られる。
- 原因がわかり、メーカーとの交渉に役立ちました。
- 不適合 1 件当たりの損失金額が非常に大きい為、率を軽減した分が利益となります。
- 将来的に競争優位性のある商品の開発。
- 他所の試験所では、高額な料金を請求されますが、御社では安価な料金設定のため時間や回数を気にせず利用可能なので、納得行くまで試験ができるため、製品の開発コストをかなり削減出来ております。

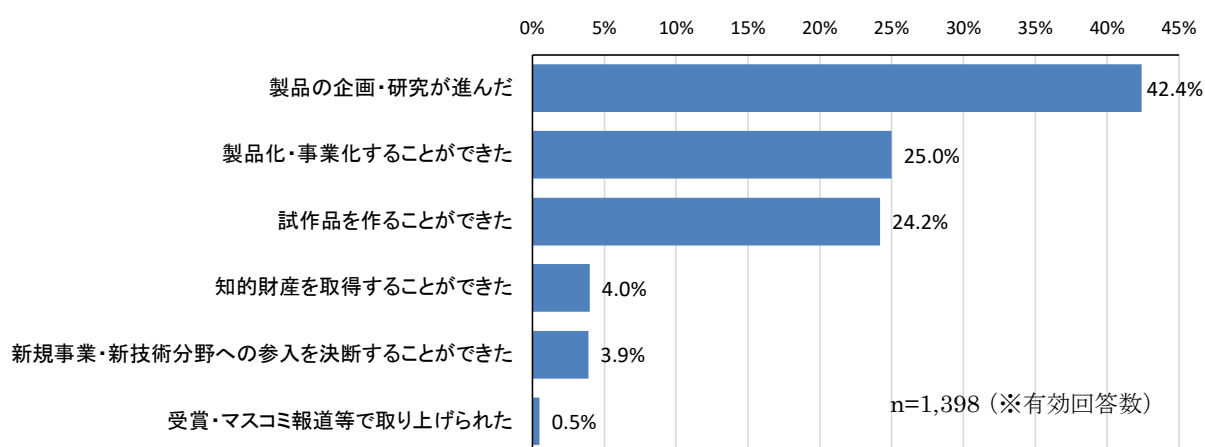
2.4. 都産技研の利用による事業効果について

本設問では、都産技研利用が寄与した企業事業の進展効果について回答いただいた。

【製品開発において】

都産技研利用による製品開発分野における寄与としては、「製品企画・研究が進んだ」の回答割合が高く、次いで「製品化・事業化することができた」、「試作品を作ることができた」の回答割合が高い。また「知的財産を取得することができた」、「新規事業・新技術分野への参入を決断することができた」の回答割合も一定程度あった。

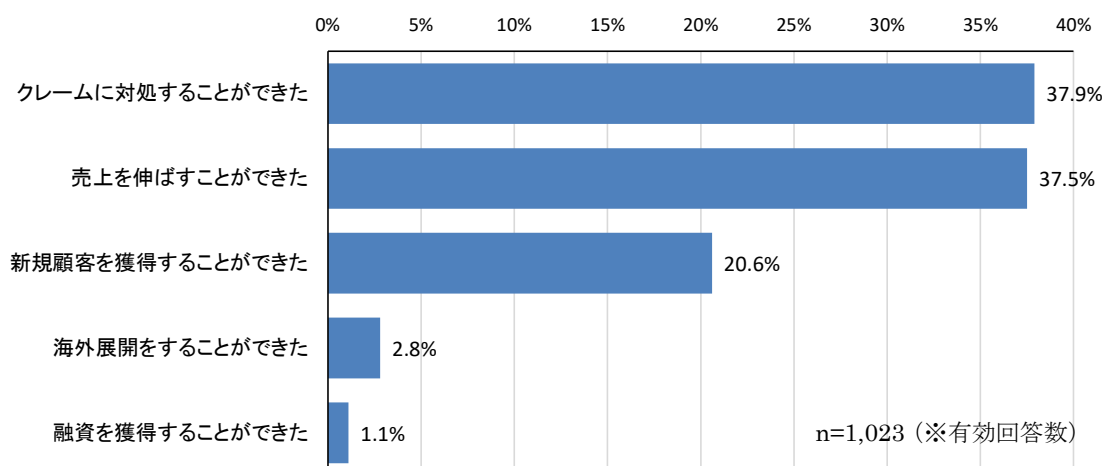
製品開発における事業効果(複数回答)



【販路拡大において】

都産技研利用による販路拡大分野における寄与としては、「クレームに対処することができた」が最も多く、次いで「売上を伸ばすことができた」の回答割合が高い。また「新規顧客を獲得することができた」の回答割合も一定程度あった。

販路拡大における事業効果(複数回答)



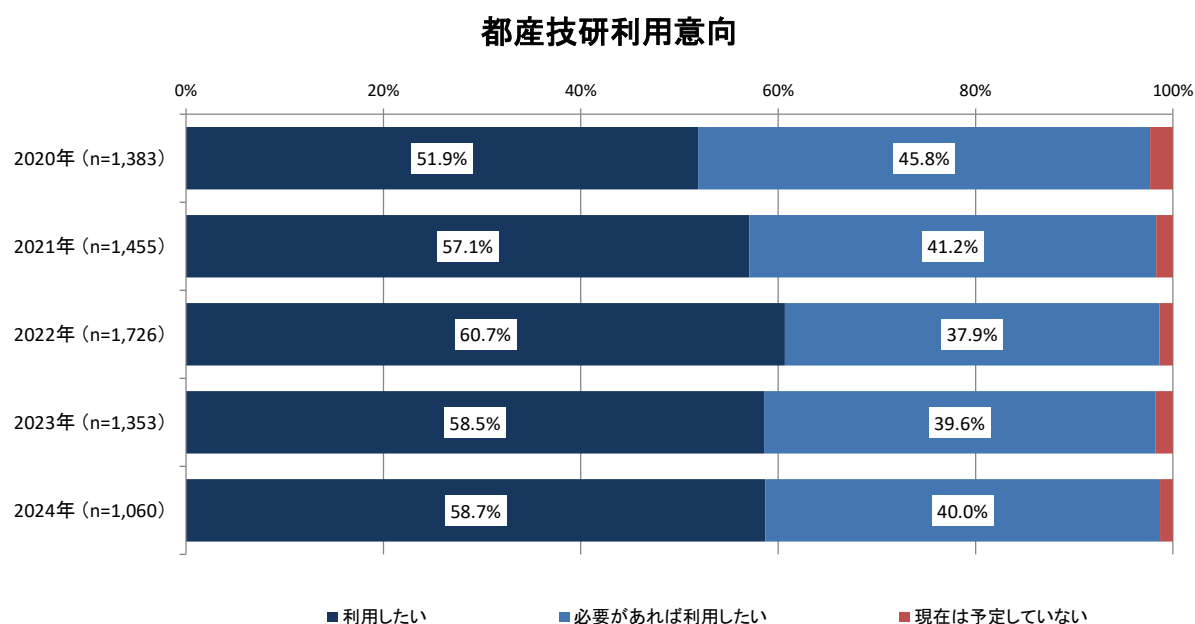
事業効果の具体的内容については、381 件のコメントをいただいた。

事業効果の具体的内容(一部抜粋)

- 品質・性能の裏付けができました。
- 部品の機能が明確になり、部品を変更して製品化できた。
- 第三者機関とのコンタクトを得ることで、弊社の知見の一部について内外にアピールできた。
- オープンソースを採用した 5 G 基地局を弊社が開発・サービスしていることを他社が多く認知した。
- 製品のスペックとして MIL 規格の一部を準拠と位置付けることができた。
- 製品品質のトラブルについて、完全解決まで行かないが、一定の知見が得られた。今後、別の問題が起きた場合の解決手段として利用できる。
- 客先に品質向上内容を具体的に提示できた。
- 高レベルな試作が出来るので、信頼度の高い事前評価ができる。
- 新規製品を受注する事によるシェア拡大。
- 今後、製品化の目途を立てる事が出来た。
- クレーム対応の一環で御センターの試験機を使用させていただき、無事に解決に至った。
- 性能評価時に考案した評価手法を自社生産工程の検査に生かすことができた。
- 温度試験や電源試験等は自社で所有していないので、自社所有と比較しコストカットが出来た。
- 製品を海外で販売する場合、海外の認定検査機関で検査を行いますが、海外の検査機関に提出する前に製品の確認を迅速に行うことができました。

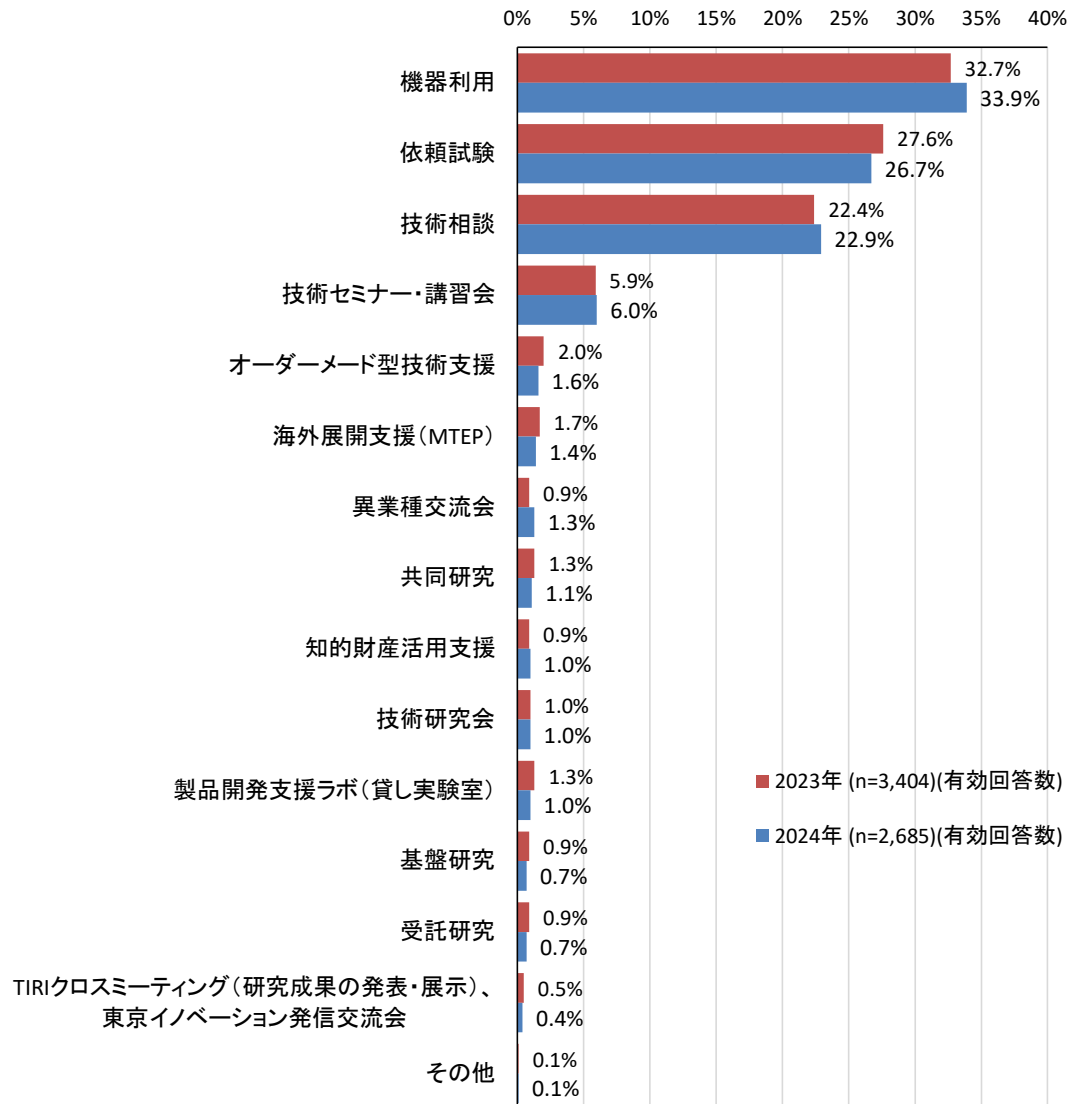
2.5. 今後の利用意向及び要望について

今後も都産技研を利用したいかどうか聞いたところ、「利用したい」の回答割合が 58.7%、「必要があれば利用したい」との回答割合が 40.0%であった。経年変化をみると、同様の回答傾向が続いている。



利用を希望する具体的な事業・サービスについて聞いたところ、「機器利用」、「依頼試験」、「技術相談」の回答割合が高かった。「セミナー・講習会」との回答割合も一定程度あった。

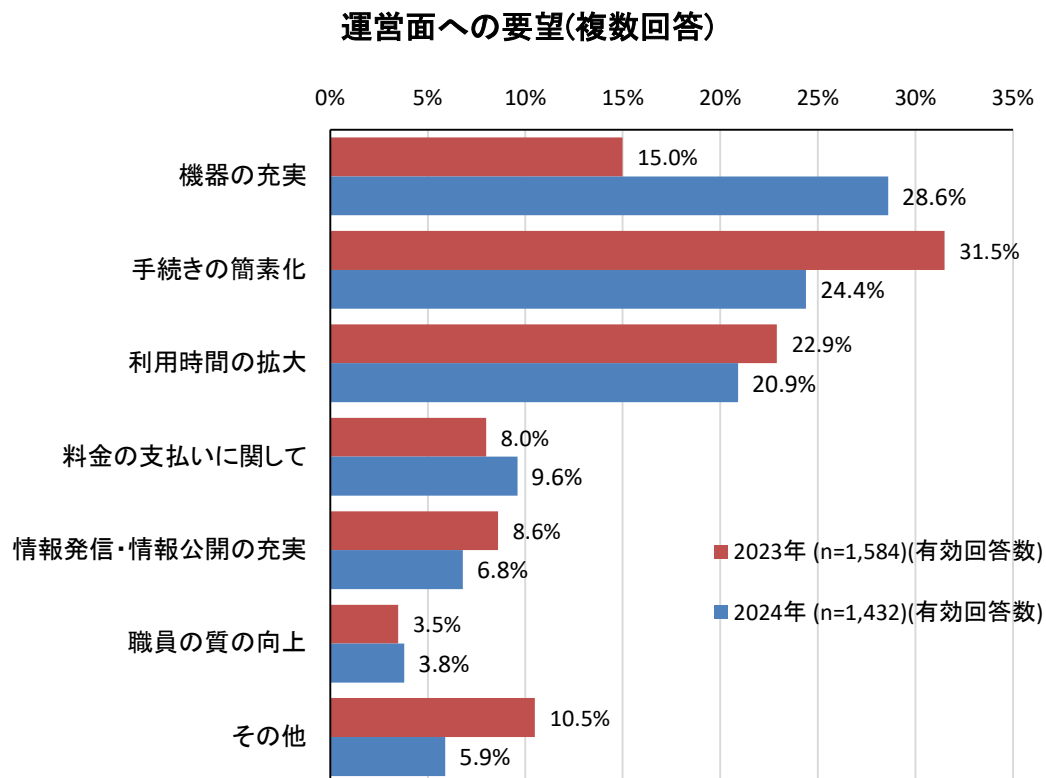
利用希望サービス(複数回答)



[その他の主な内容]

- ・ヤードトレーサーを設置して頂きたい。
- ・多摩テクにも 3D プリンターの設置を希望。
- ・クレーム対応時の検証など。

また、都産技研の運用面での要望では、「機器の充実」の回答割合が最も高い。次いで、「手続きの簡素化」、「利用時間の拡大」の回答割合が高かった。経年変化をみていくと、「機器の充実」の割合が増加している。



運営面の要望については、76 件のコメントをいただいた。

運営面への要望についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)

- オンライン予約を可能にして欲しい。
- 機器がどこにあるのかを料金表にのせてほしい。又、利用可能日程が見れると尚良い。
- 対面での相談機会を増やしてほしい。（気軽に相談できる環境がほしい）
- 工具類を預ける事が出来る様にロッカーを設置して欲しい（隔週で機器利用する場合、工具類を都度運ぶ手間が省けるので）。
- 支所が複数あるため、どこの支所が対応可能かわからないところが、不便に思う。
- 試験結果の報告書に考察や見解も入れていただけると助かります。
- 検査データだけではなく、第三者機関としての報告書の発行を期待します。

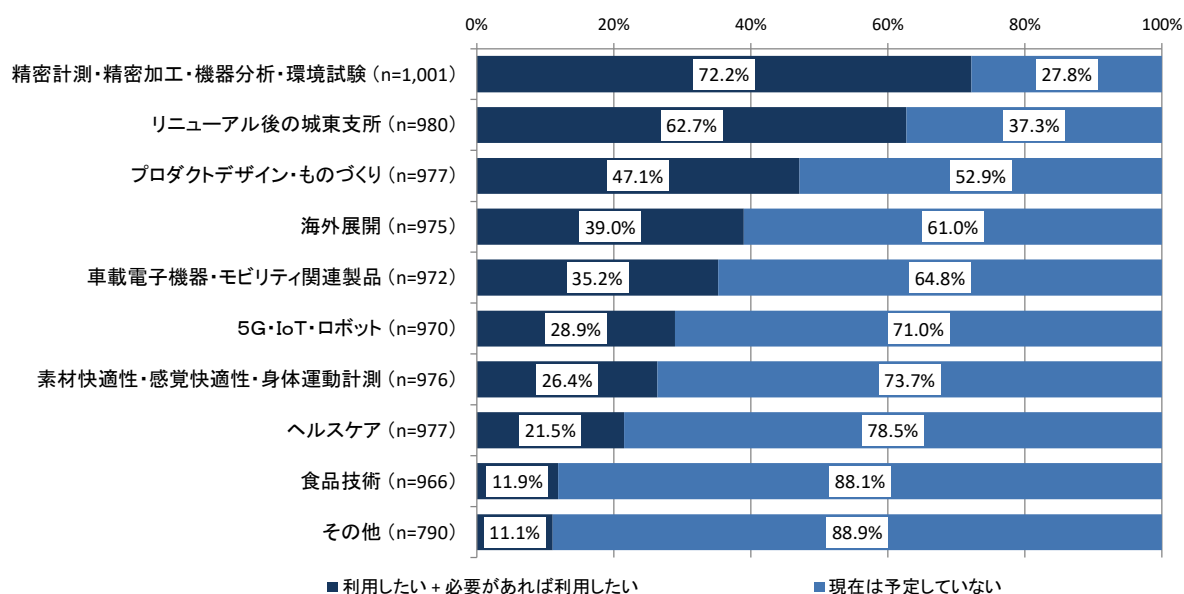
2.6. 利用予定事業(サービス)・参入予定分野について

本設問では、「利用予定のある都産技研の事業（サービス・分野）」、「参入・事業拡充の意向がある成長産業分野」について聞いた。

【利用予定のある事業(サービス)】

利用予定事業（サービス）については、「精密計測・精密加工・機器分析・環境試験」、「リニューアル後の城東支所」、「プロダクトデザイン・ものづくり」などの回答割合が高い。

利用予定事業(サービス)(利用したい+必要があれば利用したいの割合)(複数回答)



利用予定事業（サービス）の利用にあたる要望については、252 件のコメントをいただいた。

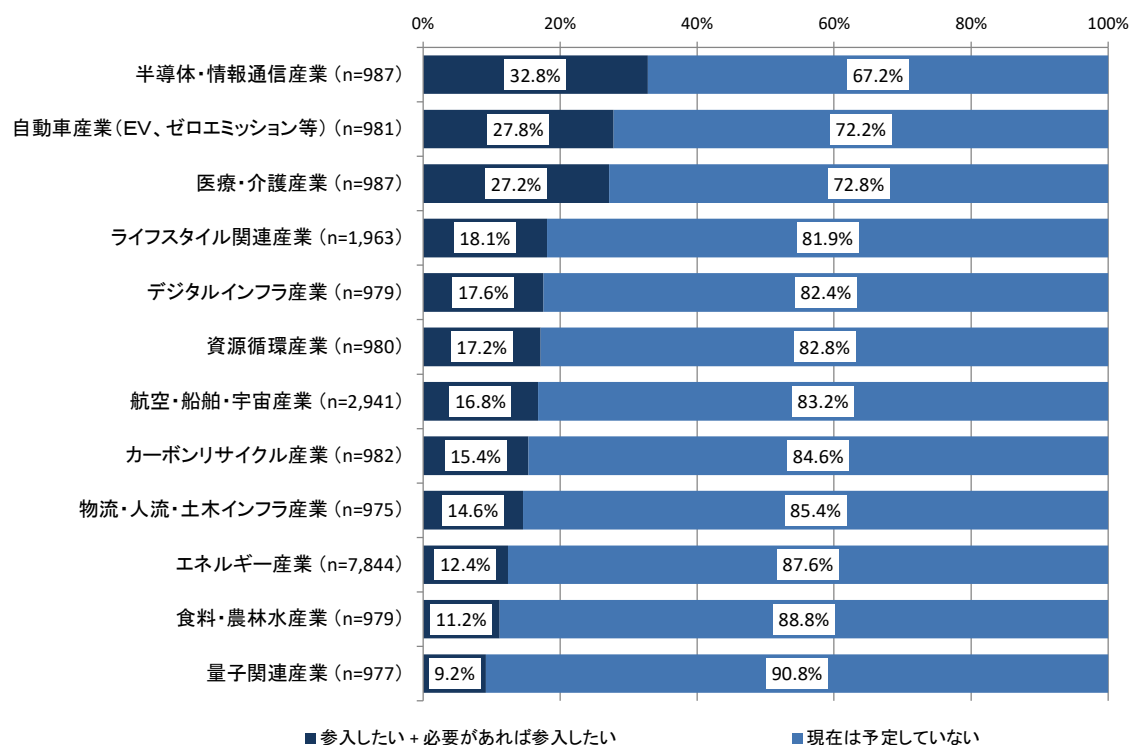
利用予定事業(サービス)の利用にあたる 要望についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)

- 3Dスキャンをさらに使いやすくして頂けましたらと思います。
- 流体可視化技術（PIV、LEF 等）に対しても、目を向けてほしい。中小企業では費用と使用頻度のバランスが取れず、導入が難しい。
- プラスチック品の評価・分析で機器利用・依頼試験を行いたい。細かい対象はテーマやクレームによって異なります。
- 弊社新商品（調理機器）に関する試作等にまつわる事案。
- 鉛当量試験を始めとする放射線関連については引き続き利用したい。
- AI についての技術情報発信、体験利用、利用方法の相談等。メリットとデメリットが理解できず、手が出せない。
- 過去セミナーのアーカイブ配信の充実をお願いします。特に去年の「化粧品分野への新規参入原料編」を聴講してみたいです。
- PCIe/USB/LAN の最新 Rev を測定できるようにして頂きたいです。
- 過電流試験に使用する機器一式をこれからも継続して使用したい。

【参入予定のある分野】

将来的に参入・事業拡充したい成長産業分野については、「半導体・情報通信産業」の割合が最も高く、次いで「自動車産業」「医療・介護産業」の回答割合が高くなっている。

参入意向(参入したい+必要があれば参入したいの割合)(複数回答)



※エネルギー産業は、「洋上風力産業」+「太陽光産業」+「地熱産業」+「水素産業」+「燃料アンモニア産業」+「次世代熱エネルギー産業」+「原子力産業」の合算値

※航空・船舶・宇宙産業は、「船舶産業」+「航空機産業」+「宇宙関連産業」の合算値

※ライフスタイル関連産業は、「住宅・建築物産業」+「ライフスタイル関連産業」の合算値

参入予定分野へ参入にあたっての課題や要望については、211 件のコメントをいただいた。

**参入予定分野へ参入にあたる
課題や要望についての具体的なコメント(回答内容から一部抜粋)**

- プラスチック材料の付加価値を高めるような分野に参入したく考えています。
- IATF 要求事項の PPAP における、有資格試験所になってほしい。(既になっているかもしれないが)
- サービス、機器の充実。職員のレベルアップ。
- 医薬品製造用のフィルター分野に参入したい。基本的なことから相談したいです。
- 量子コンピューターの部品、ドローンの部品など、部品に対する要求が様々変わってきています。部品加工の多い中小企業にとって、その辺りについてが肝ですので、その辺りについて、教えて頂きたいです。
- ゴム製品(成型品、加工品)を取り扱っているので、ゴム製品の需要がある分野であれば参入したい。

2.7. 情報提供について

都産技研のホームページやメールニュースに対しては、156 件のコメントをいただいた。

情報提供についての意見・要望の内容(回答内容から一部抜粋)

- Youtube にチャンネルを作って下さい。
- 文字読むのダルいので、動画をお願いします。
- 機器利用一覧の表に機器の写真をつけてほしい。
- 測定したい機器、担当者のスキルが分かるといいです。
- 成果発表等を 2 回/年 程度都内で開催して頂けるとありがたく思います。
- 予約システム、または予約の空き状況をホームページ上で確認できるようにしていただけるととても助かります。
- メールニュースはもう少し簡略化して分かりやすく表示してほしい。

3. 総括

本調査では、ご利用者の皆さまから数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にした上で事業運営に反映させていきたいと考えています。

3.1. 利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆さまのご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント（一部抜粋）
事業サービスの拡充に関する こと	分野の拡大 機器の充実	●繊維に力を入れてほしい。 ●SVSCAREのセミナーをもっと多く、枠も広げて開催して欲しいです。 ●新技術の情報発信。
	マニュアルの拡充	●他の会社がどの様な利用をしているのか例を教えてください。
既存事業サービスの効果的 提供に関する こと	料金	●依頼試験(XPS等)の一般料金が高すぎる様に思います。 ●利用料金が低額で大変助かっております。今後ともよろしく願いいたします。なお、試験日程をフレキシブルに調整頂けますとありがたい次第です。 ●安価で質の高い技術サービスをご提供いただき、深く感謝申し上げます。
	職員の能力・対応	●メールでの問い合わせに対しても、早くご回答いただけるので助かっています。 ●IP電話の品質が悪く、会話が聞き取れないことが多い。 ●機器利用時に過去事例、実績などの共有がもっとあると助かります。多くの専門知識を持った方ですので、中小企業に近い目線を持ってもらい情報提供いただけるとさらに良いと感じました。
	その他	●打合せスペースがあると嬉しいです。実験を顧客に見てもらった際などに利用したいです。 ●喫煙所を設けて欲しい。 ●紙はもったいないのでこの程度であれば全部ネットでの回答のみで構わない。

3.2. ご意見をもとに改善した例について

皆さまからいただいたご意見を基に改善した例をご紹介します。

お客様のご意見



改善した内容

【note についてのご要望】

- ・note の更新頻度をもっと多くしてほしい。
- せっかく良い記事ばかりなのに、フォロワーが少なくて悲しいです。

【相談先についてのご要望】

- ・各分野で担当部署が違うのでどこに相談すれば良いか不明
- などのご意見をいただきました。

【note についてのご要望】

2024 年度も note の更新を積極的に行い、記事数、フォロワー数が増えました。

<都産技研公式 note URL>

<https://mag.iri-tokyo.jp/>



【相談先についてのご要望】

2024 年度より簡易技術相談チャットボットを開発し、まずは、お客さまから問い合わせの多い技術的な内容について、いつでも確認していただけるようになりました。

<簡易技術相談チャットボット URL>

https://app.chatplus.jp/chat/visitor/1878259e_1?t=btn



今回、皆さまからいただきましたご意見・ご要望を真摯に受け止め、より一層、サービスの向上に努めてまいります。今後とも都産技研をご利用いただけますと幸いです。

参考資料

「2024年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3-1～3-5「ご利用の目的、達成度、職員対応などに関して」(P. 41～45) では、各種事業を利用された方のみを対象にアンケートを実施しています。

(例：2024年に技術相談と依頼試験のみを利用された方には、P. 43～45はお聞きしていません。)

《 2024 年ご利用に関するアンケート 》

管理番号：

いつも東京都立産業技術研究センターをご利用いただきありがとうございます。お客様サービス向上のため、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※頂きましたご意見に関しまして、一部抜粋して報告書に掲載することがございますので、あらかじめご了承ください。

※本アンケートの回答時間の目安は 10～20 分です。

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の ☐ 部にチェック（レ点など）を記入してください。

1. 貴社の概要についてお伺いします。

(1) 創業年数	☐ 創業 10 年未満
	☐ 創業 10 年以上
(2) 取扱い製品や、提供しているサービスの名称および内容 ※支障の無い範囲でご記入ください。	

2. 都産技研のご利用のきっかけについてお答え下さい。

(1) 都産技研のご利用は初めてですか	☐ 初めて利用した	☐ 2 回目以降の利用
(2) ご利用のきっかけ ※複数回答可	☐ ウェブサイト	
	☐ YouTube	
	☐ X (旧 Twitter)	
	☐ メールニュース	
	☐ TIRI NEWS	
	☐ 都産技研 note	
	☐ TIRI クロスミーティング	
	☐ 都産技研開催イベント（施設公開など、TIRI クロスミーティングを除く）	
	☐ 他機関主催の展示会（ ）	
	☐ 都産技研以外の行政機関からの紹介	
	☐ 他の企業からの紹介	
	☐ 自社（自校）の方からの紹介	
	☐ 技術雑誌・学会（会誌等）	
	☐ テレビニュース、テレビ番組、新聞	
	☐ その他（ ）	

次のページにお進みください

3-1.「技術相談」のご利用の目的、達成度、職員対応の満足度等についてお答えください。

(3-1～3-5 はご利用いただいた事業分のみお送りしています)

(1) 技術相談の目的 ※複数回答可	☐	品質の証明（試験方法に関する事前相談）
	☐	製品の評価
	☐	トラブルの原因究明
	☐	製品／製造技術の改良・開発
	☐	製造コストの低減
	☐	取引先からの信頼の向上
	☐	安全性・品質の向上
	☐	人材育成・技術力向上
	☐	専門技術情報の収集
	☐	新技術分野への進出
	☐	販売促進
	☐	環境対策
	☐	省資源・省エネルギー対策
	☐	海外展開
	☐	その他（ ）
(2) 技術相談の目的達成度 ※1つだけ回答	☐	1. 十分達成できた（(4)へ）
	☐	2. ある程度達成できた（(4)へ）
	☐	3. わずかしか達成できなかった（(3)へ）
	☐	4. 達成できなかった（(3)へ）
(3)（設問(2)目的達成度で3又は4を選択した場合のみ） 達成度が低いと感じた理由をお聞かせください。 ※複数回答可	☐	回答が不十分
	☐	利用期間（時間）の不足
	☐	結果が得られるまでの時間が長い
	☐	職員の能力不足
	☐	その他（ ）
(4) 本サービスご利用後、製品化に至りましたか。 ※1つだけ回答	☐	製品化した
	☐	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	☐	まだ製品化していない
(5) 具体的な成果があれば、お聞かせください。（派生を含む、製品改良や事業化事例など） ※支障の無い範囲でご記入ください。		
(6) 技術相談時の職員の対応 ※1つだけ回答	☐	満足
	☐	やや満足
	☐	やや不満
	☐	不満
(7) 技術相談について、ご意見・ご要望をお聞かせください。		
(8) 具体的な成果やご意見・ご要望について、直接お話を伺うことは可能ですか。 ※1つだけ回答	☐	はい*
	☐	いいえ

* 「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

3-2.「依頼試験」のご利用の目的、達成度、職員対応の満足度等についてお答えください。

(3-1～3-5 はご利用いただいた事業分のみお送りしています)

(1) 依頼試験の利用目的 ※複数回答可	☐	品質の証明（試験報告書の取得）
	☐	製品の評価
	☐	トラブルの原因究明
	☐	製品／製造技術の改良・開発
	☐	製造コストの低減
	☐	取引先からの信頼の向上
	☐	安全性・品質の向上
	☐	人材育成・技術力向上
	☐	専門技術情報の収集
	☐	新技術分野への進出
	☐	販売促進
	☐	環境対策
	☐	省資源・省エネルギー対策
	☐	海外展開
	☐	その他（ ）
(2) 依頼試験の目的達成度 ※1つだけ回答	☐	1. 十分達成できた((4)へ)
	☐	2. ある程度達成できた((4)へ)
	☐	3. わずかしか達成できなかった((3)へ)
	☐	4. 達成できなかった((3)へ)
(3) (設問(2)目的達成度で3又は4を選択した場合のみ) 達成度が低いと感じた理由をお聞かせください。 ※複数回答可	☐	試験終了までの時間が長い
	☐	利用期間（時間）の不足
	☐	利用料金が高額
	☐	職員の能力不足
	☐	設備・機器の能力不足
☐	その他（ ）	
(4) 本サービスご利用後、製品化に至りましたか。 ※1つだけ回答	☐	製品化した
	☐	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	☐	まだ製品化していない
(5) 具体的な成果があれば、お聞かせください。（派生を含む、製品改良や事業化事例など） ※支障の無い範囲でご記入ください。		
(6) 依頼試験時の職員の対応 ※1つだけ回答	☐	満足
	☐	やや満足
	☐	やや不満
	☐	不満
(7) 依頼試験について、ご意見・ご要望をお聞かせください。		
(8) 具体的な成果やご意見・ご要望について、直接お話を伺うことは可能ですか。 ※1つだけ回答	☐	はい*
	☐	いいえ

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

3-3.「機器利用」のご利用の目的、達成度、職員対応の満足度等についてお答えください。

(3-1～3-5 はご利用いただいた事業分のみお送りしています)

(1) 機器利用の目的 ※複数回答可	☐	製品の評価
	☐	トラブルの原因究明
	☐	製品／製造技術の改良・開発
	☐	製造コストの低減
	☐	取引先からの信頼の向上
	☐	安全性・品質の向上
	☐	人材育成・技術力向上
	☐	専門技術情報の収集
	☐	新技術分野への進出
	☐	販売促進
	☐	環境対策
	☐	省資源・省エネルギー対策
	☐	海外展開
	☐	その他 ()
(2) 機器利用の目的達成度 ※1つだけ回答	☐	1. 十分達成できた((4)へ)
	☐	2. ある程度達成できた((4)へ)
	☐	3. わずかしか達成できなかった((3)へ)
	☐	4. 達成できなかった((3)へ)
(3) (設問(2)目的達成度で3又は4を選択した場合のみ) 達成度が低いと感じた理由をお聞かせください。 ※複数回答可	☐	希望する日時に利用できない
	☐	利用期間(時間)の不足
	☐	利用料金が高額
	☐	職員の能力不足
	☐	設備・機器の能力不足
	☐	その他 ()
(4) 本サービスご利用後、製品化に至りましたか。 ※1つだけ回答	☐	製品化した
	☐	近い将来(1年程度)製品化する予定である
	☐	まだ製品化していない
(5) 具体的な成果があれば、お聞かせください。(派生を含む、製品改良や事業化事例など) ※支障の無い範囲でご記入ください。		
(6) 機器利用時の職員の対応 ※1つだけ回答	☐	満足
	☐	やや満足
	☐	やや不満
	☐	不満
(7) 機器利用について、ご意見・ご要望をお聞かせください。		
(8) 具体的な成果やご意見・ご要望について、直接お話を伺うことは可能ですか。 ※1つだけ回答	☐	はい*
	☐	いいえ

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

3-4.「技術セミナー・講習会」のご利用の目的、達成度、職員対応の満足度等についてお答えください。

(3-1～3-5 はご利用いただいた事業分のみお送りしています)

(1) 技術セミナー・講習会の参加目的 ※複数回答可	☐	製品の評価
	☐	トラブルの原因究明
	☐	製品／製造技術の改良・開発
	☐	製造コストの低減
	☐	取引先からの信頼の向上
	☐	安全性・品質の向上
	☐	人材育成・技術力向上
	☐	専門技術情報の収集
	☐	新技術分野への進出
	☐	販売促進
	☐	環境対策
	☐	省資源・省エネルギー対策
	☐	海外展開
	☐	その他 ()
(2) 技術セミナー・講習会の目的達成度 ※1つだけ回答	☐	1. 十分達成できた((4)へ)
	☐	2. ある程度達成できた((4)へ)
	☐	3. わずかしか達成できなかった((3)へ)
	☐	4. 達成できなかった((3)へ)
(3) (設問(2)目的達成度で3又は4を選択した場合のみ) 達成度が低いと感じた理由をお聞かせください。 ※複数回答可	☐	希望の内容との不一致
	☐	講師の質
	☐	日程・時間が不適當
	☐	開催方法(オンライン等)が不適當
	☐	利用料金が高額
☐	その他 ()	
(4) 受講をきっかけとして利用した都産技研のサービスがあれば、お聞かせください。 ※複数回答可	☐	技術相談
	☐	依頼試験
	☐	機器利用
	☐	オーダーメイド型技術支援
	☐	他の技術セミナー・講習会
	☐	共同研究
☐	その他 ()	
(5) 具体的な成果があれば、お聞かせください。(社員の教育効果、製品改良や事業化事例など) ※支障の無い範囲でご記入ください。		
(6) 技術セミナー・講習会時の職員の対応 ※1つだけ回答	☐	満足
	☐	やや満足
	☐	やや不満
	☐	不満
(7) 技術セミナー・講習会について、ご意見・ご要望をお聞かせください。		
(8) 具体的な成果やご意見・ご要望について、直接お話を伺うことは可能ですか。 ※1つだけ回答	☐	はい*
	☐	いいえ

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。
次のページにお進みください

3-5.「オーダーメイド型技術支援」のご利用の目的、達成度、職員対応の満足度等についてお答えください。

(3-1～3-5 はご利用いただいた事業分のみお送りしています)

(1) オーダーメイド型技術支援の目的 ※複数回答可	☐	品質の証明（完了報告書の取得）
	☐	製品の評価
	☐	トラブルの原因究明
	☐	製品／製造技術の改良・開発
	☐	製造コストの低減
	☐	取引先への信頼の向上
	☐	安全性・品質の向上
	☐	人材育成・技術力向上
	☐	専門技術情報の収集
	☐	新技術分野への進出
	☐	販売促進
	☐	環境対策
	☐	省資源・省エネルギー対策
	☐	海外展開
	☐	その他（ ）
(2) オーダーメイド型技術支援の目的達成度 ※1つだけ回答	☐	1. 十分達成できた((4)へ)
	☐	2. ある程度達成できた((4)へ)
	☐	3. わずかしか達成できなかった((3)へ)
	☐	4. 達成できなかった((3)へ)
(3) (設問(2)目的達成度で3又は4を選択した場合のみ) 達成度が低いと感じた理由をお聞かせください。 ※複数回答可	☐	希望の内容との不一致
	☐	支援終了までの時間が長い
	☐	利用期間（時間）の不足
	☐	利用料金が高額
	☐	職員の能力不足
	☐	設備・機器の能力不足
(4) 本サービスご利用後、製品化に至りましたか。 ※1つだけ回答	☐	製品化した
	☐	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	☐	まだ製品化していない
(5) 具体的な成果があれば、お聞かせください。（派生を含む、製品改良や事業化事例など） ※支障の無い範囲でご記入ください。		
(6) オーダーメイド型技術支援時の職員の対応 ※1つだけ回答	☐	満足
	☐	やや満足
	☐	やや不満
	☐	不満
(7) オーダーメイド型技術支援について、ご意見・ご要望をお聞かせください。		
(8) 具体的な成果やご意見・ご要望について、直接お話を伺うことは可能ですか。 ※1つだけ回答	☐	はい*
	☐	いいえ

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます

4. 都産技研をご利用されたことで得られた経済的効果についてお答えください。

(1) 都産技研ご利用によって得られた経済的効果（見込みを含む） ※複数回答可	☐ コストの削減 （例）効果的なアドバイスを受けたことで、開発時間・労力を削減できた		
	☐ 売上/利益の獲得 （例）依頼試験により海外認証を取得し、海外での売上が見込まれる		
	☐ 将来的なメリット （例）不具合の原因究明ができたため、欠陥に起因する損失を回避できた		
	☐ 経済的効果が感じられなかった（以降の(2)、(3)の回答は不要です）		
(2) 経済的効果の概算金額	☐ 50 万円以下	☐ 50 万～100 万円	☐ 100 万～300 万円
	☐ 300 万～500 万円	☐ 500 万～1, 000 万円	☐ 1, 000 万～3, 000 万円
	☐ 3, 000 万～5, 000 万円	☐ 5, 000 万～1 億円	☐ 1 億円超（約 億円）
(3) 経済的効果が得られた場合の具体的な内容 ※支障の無い範囲でお答えください			

5. 都産技研をご利用されたことで得られた事業効果についてお答えください。

(1) 都産技研のご利用によって得られた事業効果 ※複数回答可	製品開発	☐	新規事業・新技術分野への参入を決断することができた
		☐	製品の企画・研究が進んだ
		☐	試作品を作ることができた
		☐	知的財産を取得することができた
		☐	製品化・事業化することができた
		☐	受賞・マスコミ報道等で取り上げられた
	販路開拓	☐	売上を伸ばすことができた
		☐	新規顧客を獲得することができた
		☐	融資を獲得することができた
		☐	海外展開をすることができた
☐		クレームに対処することができた	
(2) 事業効果が得られた場合の具体的な内容 ※支障の無い範囲でお答えください			

6. 都産技研に対するご要望についてお伺いします。

(1) 今後のご利用意向 ※1つだけ回答	☐	1. 利用したい
	☐	2. 必要があれば利用したい
	☐	3. 現在は予定していない（以降の(2)～(4)の回答は不要です）
(2) 利用を希望する都産技研のサービス ※複数回答可	☐	技術相談
	☐	依頼試験
	☐	機器利用
	☐	基盤研究
	☐	受託研究
	☐	共同研究
	☐	オーダーメイド型技術支援
	☐	技術セミナー・講習会
	☐	知的財産活用支援
	☐	海外展開支援（MTEP）
	☐	異業種交流会
	☐	技術研究会
	☐	TIRI クロスミーティング（研究成果の発表・展示）、東京イノベーション発信交流会
	☐	製品開発支援ラボ（貸し実験室）
☐	その他 ※()内にご記載ください （ ）	

(3) 運営面 に対する要望 ※複数回答可	☐	手続きの簡素化	
	☐	利用時間の拡大	
	☐	機器の充実（下欄に詳細をご記入ください）	
	詳細記入欄	①新規導入・既存で更新してほしい機器名	
	詳細記入欄	②上記①の機器の使用用途	※記入例：有機ELの特性評価
	詳細記入欄	③上記機器の希望性能	※記入例：〇㎡以上の製品が試験可能
	☐	職員の質の向上	
	☐	情報発信・情報公開の充実	
	☐	料金の支払いに関して（下欄に詳細をご記入ください）	
	詳細記入欄		
☐	その他（都産技研に対する新規事業への期待・要望等について、下欄に詳細をご記入ください）		
詳細記入欄			

（４）今後ご利用意向のある都産技研の事業（サービス・分野）についてお答えください。

※それぞれ１つだけ回答してください。

事業（サービス・分野）	利用したい	必要があれば利用したい	現在はまだしていない		
5G・IoT・ロボット ローカル 5G 環境を整備し技術的な支援を行うとともに、IoT 及びロボットといった 5G を活用できる分野も含めた総合的な製品開発支援等を実施しています。	☐	☐	☐		
海外展開 輸出時における海外の製品安全規格についての相談や情報提供、海外に展開する日系中小企業の技術支援を行っています。	☐	☐	☐		
ヘルスケア 各種試験機器により原料の分析から機能性・安定性の評価までに対応し、開発製品の「価値をみせる」ための評価を行い、化粧品などヘルスケア産業のものづくりを支援しています。	☐	☐	☐		
食品技術 食品産業に関わる依頼試験、機器利用、研究開発等を実施するとともに、フードテック等の先端技術を活用した新技術・新製品開発、デザイン向上、生産性向上等による売れる商品開発を支援しています。	☐	☐	☐		
プロダクトデザイン・ものづくり デジタル技術を活用した製品デザインや加工技術などにより企業の製品開発を支援しています。	☐	☐	☐		
リニューアル後の城東支所 現在施設改修により休止中の城東支所は 2025 年度にリニューアルオープンします。リニューアル後は上記のプロダクトデザイン・ものづくりに加え、製品規格から加工、金型などの試作、強度試験、化学分析、環境試験などの技術支援を行います。	☐	☐	☐		
素材快適性・感覚快適性・身体運動計測 人間工学や生理計測などに基づいたデータの取得、人間の特性、生活空間・環境を活かした生活技術による生活関連製品の開発を支援しています。	☐	☐	☐		
精密計測・精密加工・機器分析・環境試験 先端的な計測・分析技術や加工技術による高品質高付加価値製品の開発を支援しています。	☐	☐	☐		
車載電子機器・モビリティ関連製品 EMC サイトでの車載電子機器、モビリティ関連の安全性・信頼性評価による製品の開発を支援しています。	☐	☐	☐		
その他 ()	☐	☐	☐		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">ご要望</td> <td></td> </tr> </table>				ご要望	
ご要望					

(5) 新規参入・事業を拡充する意向のある成長産業分野についてお答えください。

※それぞれ1つだけ回答してください。

分野名		参入したい	必要があれば参入したい	現在はまだしていない
洋上風力産業		☐	☐	☐
太陽光産業		☐	☐	☐
地熱産業		☐	☐	☐
水素産業		☐	☐	☐
燃料アンモニア産業		☐	☐	☐
次世代熱エネルギー産業		☐	☐	☐
原子力産業		☐	☐	☐
自動車・蓄電池産業		☐	☐	☐
半導体・情報通信産業		☐	☐	☐
船舶産業		☐	☐	☐
物流・人流・土木インフラ産業		☐	☐	☐
食料・農林水産業		☐	☐	☐
航空機産業		☐	☐	☐
カーボンリサイクル産業		☐	☐	☐
住宅・建築物産業		☐	☐	☐
資源循環産業		☐	☐	☐
ライフスタイル関連産業		☐	☐	☐
自動車産業（EV、ゼロエミッション等）		☐	☐	☐
宇宙関連産業		☐	☐	☐
量子関連産業		☐	☐	☐
デジタルインフラ産業		☐	☐	☐
医療・介護産業		☐	☐	☐
その他（ ）		☐	☐	☐
ご要望				

7. 都産技研からの情報提供(ウェブサイト、メールニュース、TIRI NEWS、note 等) についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

- ・ウェブサイト : <https://www.iri-tokyo.jp/>
- ・メールニュース : 講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報などを随時配信しています。
- ・TIRI NEWS : 都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を
目的に発行している技術情報メディア。
<https://www.iri-tokyo.jp/site/tiri-news/>
- ・都産技研 note : 都産技研の職員や設備の魅力を幅広く発信するメディア。
<https://note.com/tosangiken>

※メールニュースの配信を希望される方は下記のアドレスもしくは QR コードから WEB サイトにアクセスいただき、配信のお申込みをお願いいたします。

Web サイトアドレス	QR コード
https://www.iri-tokyo.jp/site/mail-news/	

8. 其他のご意見がございましたら、お聞かせください。(本アンケート調査に対するご意見、自由意見等)

最後までご回答いただきましてありがとうございました。

返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号 都産技 2025-1 号

2024年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

2025年4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10
TEL：03-5530-2111（代表）
FAX：03-5530-2536
URL <https://www.iri-tokyo.jp/>



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。